



かみのやま

消防年報



令和 7 年度刊行
上山市消防本部



は し が き

この消防年報は、令和6年中における上山市消防の現勢と消防に関する各種資料を集録し、消防行政を広く紹介することを目的として編集したものです。

内容中、年月日等が記載なしの場合は、すべて暦年で表しております。

令和7年8月

上 山 市 消 防 本 部



目

市 勢

市 勢	・ ・ ・ ・ ・	1 ～ 3
1 沿革	2 市制	3 位置と人口

庶 務

上山市消防本部・署の沿革	・ ・ ・ ・ ・	4 ～ 9
歴代消防長等	・ ・ ・	1 0 ～ 1 1
1 消 防 長（専任）		
2 消防次長		
3 消防署長		
予算のあらまし	・ ・ ・ ・ ・	1 1
1 令和4年度当初消防予算額		
2 過去5年間の推移		
消防本部・署の組織等	・ ・ ・	1 2 ～ 1 3
1 消防本部の組織と事務分掌		
2 消防署の組織と事務分掌		
3 配置表		
4 階級別年令及び勤続年数		
（1） 階級別年令		
（2） 階級別勤続年数		
（3） 階級別平均年令		

予 防

消防協力団体	・ ・ ・ ・ ・	1 4
1 自主防災組織の現状		
2 少年婦人防火委員会		
3 危険物安全協会		
防災（備蓄）資機材	・ ・ ・ ・ ・	1 4
防火対象物	・ ・ ・ ・ ・	1 5
危険物	・ ・ ・ ・ ・	1 6
1 危険物製造所等数量		
2 危険物製造所等処理		
3 危険物施設等の立入検査回数		
火災予防	・ ・ ・ ・ ・	1 7
1 法令による届出		
2 消防用設備等着工（設置）届出 （法第17条の3の2・第17条の14）		
3 火災予防条例に基づく届出		
4 広報活動		
建築同意	・ ・ ・ ・ ・	1 8
1 建築同意事務処理（月別）		
2 過去5年間の建築同意事務処理（防火対象物）		
火災概要	・ ・ ・	1 9 ～ 2 5
1 火災発生状況		
（1） 主な項目の前年対比		
（2） 月別の前年対比		
（3） 火災種別の比較		
（4） 出火原因の比較		
（5） 四季別の発生件数		
（6） 月別の比較（降水量・湿度との関係）		
① 火災種別ごとの発生件数		
② 降水量（月合計）及び湿度（月平均相対湿度）		
（7） 発生時間帯別の比較		
（8） 初期消火の実態		
（9） 覚知別の火災状況		
2 過去5年間の発生件数累計		
（1） 月別の比較		
（2） 時間帯別の比較		
3 過去10年間の比較		
（1） 火災発生状況		
（2） 火災種別の比較		
（3） 損害額の比較		
4 過去の特大火災及び風水害		
（1） 特大火災		
（2） 風水害		

次

警 防

消防施設・装備	・ ・ ・	2 6 ～ 2 8
1 消防本部・署 機械現有		
2 消防団 機械・施設現有（分団別）		
3 消防団 ポンプ等の現有		
消防水利	・ ・ ・	2 8
1 各分団別消防水利数		

情報管理

1 1 9 番受信状況	・ ・ ・ ・ ・	2 9
1 月別及び回線別 1 1 9 番受信件数		
2 受信種別 1 1 9 番受信件数		
口頭指導状況	・ ・ ・ ・ ・	2 9
1 項目別口頭指導件数		
2 口頭指導件数に対する応急処置実施件数		
気象	・ ・ ・ ・ ・	3 0
1 降 水 量		
2 降 雪 深		
3 過去5年間の年間降水量・降雪深の比較		
4 気 温		
5 湿 度		
消防応援協定等締結状況	・ ・ ・	3 1 ～ 3 2

消 防

消防隊等出動状況	・ ・ ・ ・ ・	3 3
自主防災組織訓練指導状況	・ ・ ・ ・ ・	3 3

救急救助

救急事故種別の分類	・ ・ ・ ・ ・	3 4
傷病者の年令区分	・ ・ ・ ・ ・	3 4
救急業務実施状況	・ ・ ・	3 5 ～ 3 9
1 出動件数・搬送人員（前年との比較）		
2 事故種別・年齢別搬送状況		
3 事故種別・傷病程度別搬送状況		
4 現場到着までの所要時間別出動件数		
5 医療機関収容までの所要時間別搬送人員		
6 救急隊員及び救急救命士の行った処置等の実態		
7 心肺停止傷病者に対する特定行為実施結果		
8 過去10年間の出動件数及び搬送人員等		
9 応急手当普及啓発活動の経過		
10 着衣泳普及啓発活動		
救助事故種別の分類	・ ・ ・ ・ ・	4 0
救助業務実施状況	・ ・ ・ ・ ・	4 0

消防団

上山市消防団の沿革	・ ・ ・	4 1 ～ 4 8
歴代団長等	・ ・ ・	4 8 ～ 4 9
1 団長		
2 副団長		
消防団組織等	・ ・ ・	4 9 ～ 5 1
1 組織		
2 過去5年間の比較		
3 階級別平均年令		
4 報酬		
5 手当		
6 消防団協力事業所表示証交付先		

市勢





上山市章

「上山」の文字をデザイン化し、上山温泉郷のルーツともいえる鶴を象ったものです。同時に種子から萌え出ようとする力を表わし、未来への躍進を象徴しています。

(昭和30年5月24日制定)



市の花「キク」

市内には観賞用から食用まで多くの種類のキクが栽培されています。市制20周年を機に市民からの公募で選ばれました。

(昭和49年10月1日制定)



市の木「アララギ」

アララギ派歌人斎藤茂吉にゆかりの深い樹木で、イチイ科の常緑針葉高木です。市内の各所に見事な老樹名木を見ることができます。市制20周年を機に市民からの公募で選ばれました。

(昭和49年10月1日制定)



市の鳥「コサギ」

きれいな川や水田に生息するコサギの別名は「白鷺」。白く清楚なイメージが城のまちにふさわしいことから、市制40周年を記念して市の鳥に選ばれました。

(平成6年10月1日制定)



市の花木「上ノ山麒麟」

大正期から全国の愛好者に名声を馳せた上山固有の伝統的な品種であり、市制60周年を記念して市の花木に制定されました。

(平成26年10月1日制定)

《 市 勢 》

1 沿 革

当市は名峰蔵王連峰の表玄関口に開けた田園観光都市であり、また樹氷とスキーで名高い蔵王を横断する「蔵王エコーライン」が雲の上を走り、四季を通じた山岳リゾート地として脚光を浴び、さらに日本を代表する歌人斎藤茂吉のふるさととして、多くの観光客が訪れております。

かみのやまの地名は、古くは「神山」又は、現在の山形市に対して「上の山形」とも言われておりましたが、延文年間最上満長が当地を領し、上山殿と称したことから“上山”となったと伝えられています。

その後、天文4（1535）年武永（衛）義忠が月岡に城を移し、前川の川筋を変えて城下町として整備したのが、現在の市街地の原形をなしています。

また、奥羽三楽郷の一つとしての上山温泉の起源は、長禄2年に肥前杵嶋の僧月秀が今の湯町付近にあった沼から温泉が湧いていたのを発見したことによります。

その後、新湯・高松・葉山・河崎・金瓶などの温泉群が続出し、風光明媚と病後の療養に効能があることから、広く世に知られるようになり宿場町、温泉町として人々が集う町となりました。

現代においては、恵まれた地域資源を活かして平成20年度の内閣府「地方の元気再生事業」を足掛りに、滞在型の新たな健康保養地を目指し「上山型温泉クアオルト事業」を市政の重要施策に位置づけたまちづくりを展開しています。

結びに、温泉や蔵王の自然、城下町としての歴史や風情など豊かな個性の中で、将来都市像に掲げる『また来たくなるまち ずっと居たいまち～クアオルトかみのやま～』の実現に努めております。

※「クアオルト」とは、ドイツ語で「健康保養地・療養地」の意味です。

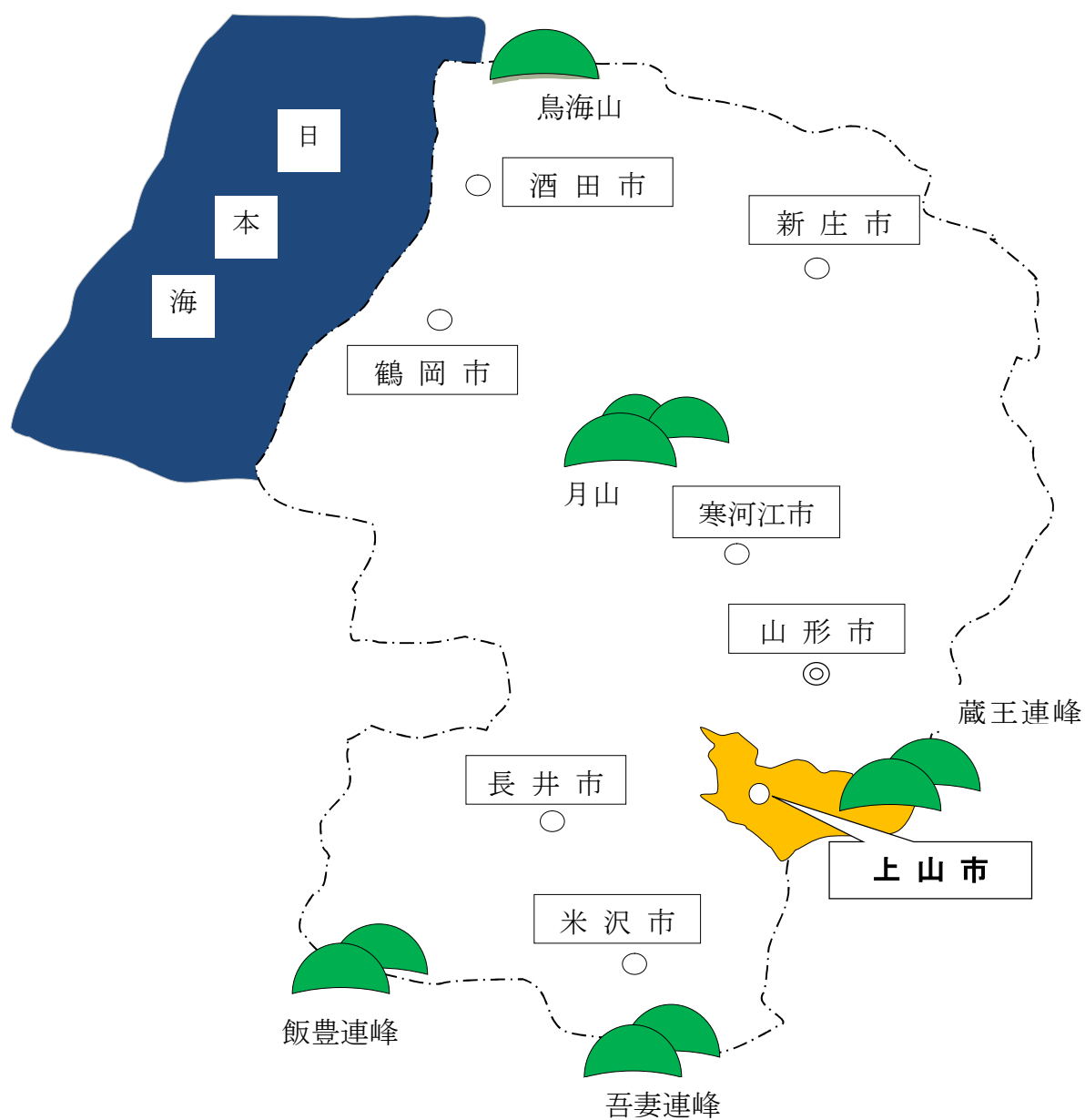
2 市 制

昭和29年10月 1日	1町5か村合併（上山町・西郷・本庄・東・宮生・中川村）
昭和31年11月15日	本沢村久保手地区編入
昭和32年 1月 1日	赤湯町大字中山地区編入
昭和32年 3月21日	山形市大字金瓶地区編入
昭和32年 3月21日	山元村編入

3 位 置

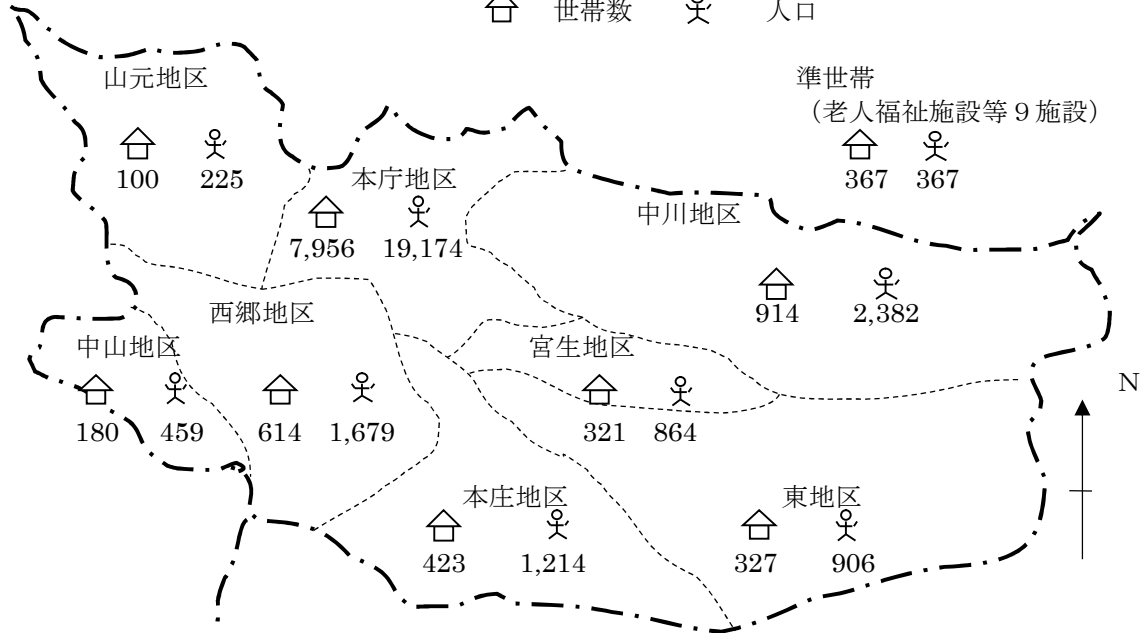
本市は、山形県の東南部にあって、極東東経 $140^{\circ}27'$ 、極西東経 $140^{\circ}11'$ 、極南北緯 $38^{\circ}03'$ 、極北北緯 $38^{\circ}13'$ に位置し、東西 23.1km 、南北 18.8km 、周囲 84.0km 、面積 240.9km^2 を有し、南東部の蔵王連峰一帯の山岳地帯と西部丘陵地帯に囲まれた上山盆地を形づくっています。

《 位 置 図 》



《 上 山 市 の 人 口 》

合 世帯数 人 口



【人口と世帯数の推移】

年 別	世帯数	総人口	男	女	備 考
令和 7 年 4 月 末日	11,202	27,270	13,122	14,148	市民生活課確定
令和 6 年 4 月 末日	11,253	27,879	13,440	14,439	市民生活課確定
令和 5 年 4 月 末日	11,226	28,375	13,647	14,728	市民生活課確定
令和 4 年 4 月 末日	11,264	28,857	13,837	15,020	市民生活課確定
令和 3 年 4 月 末日	11,288	29,375	14,061	15,314	市民生活課確定
令和 2 年 4 月 末日	11,311	29,796	14,290	15,506	国勢調査
平成 3 1 年 4 月 末日	11,291	30,271	14,484	15,787	市民生活課確定
平成 3 0 年 4 月 末日	11,263	30,706	14,663	16,043	市民生活課確定
平成 2 7 年 1 0 月 1 日	10,694	31,569	14,951	16,618	国勢調査
平成 2 2 年 1 0 月 1 日	10,751	33,836	16,036	17,800	国勢調査
平成 1 7 年 1 0 月 1 日	10,954	36,013	17,091	18,922	国勢調査
平成 1 2 年 1 0 月 1 日	10,688	36,886	17,588	19,298	国勢調査

庶務



《 上山市消防本部・署の沿革 》

昭和 19. 4. 1	上山町消防団常備部設置	定員 12 人
23. 3. 7	消防組織法施行	
25. 6.	水槽付消防ポンプ自動車配備 (いすゞ TX1800 ₁₂)	
26. 4.	上山町消防本部・消防署設置	
29. 5.	職員 3 人採用	定員 15 人
10. 1	市制施行 (1 町 5 か村合併) に伴い上山市消防本部・消防署となる	
30. 4.	消防ポンプ自動車配備 (トヨタ ランドクルーザー)	
5.	庁舎 (車庫) 改造	
	山形県公安委員会と警備、消防に関する協定締結	
31. 3.	国家消防本部より表彰旗授与	
6.	職員 4 人採用	定員 19 人
32. 4.	山形市と消防相互応援協定締結	
33. 6.	東置賜郡赤湯町、宮内町と消防相互応援協定締結	
34. 4.	職員 1 人採用	定員 20 人
35. 4.	火災報知専用電話架設	
11.	宮城県刈田郡七ヶ宿町と消防相互応援協定締結	
36. 7.	職員 1 人採用	定員 21 人
8.	職員 1 人採用	定員 22 人
37. 3.	職員 2 人採用	定員 26 人 (実員 24 人)
6.	職員 1 人採用 (専任初代消防長 酒井寿男氏就任)	定員 26 人 (実員 25 人)
12.	消火栓設置 151 基	
38. 6.	上山市危険物安全協会設立 (初代会長 鈴木行男氏)	
12.	庁舎改築	
39. 5.	職員 2 人採用	定員 36 人 (実員 27 人)
12.	消防無線運用開始	
40. 4.	職員 2 人採用	定員 36 人 (実員 29 人)
41. 4.	職員 2 人採用	定員 36 人 (実員 31 人)
7.	自動式一般加入電話設置・火災報知専用電話 (119 番) 架設	
42. 4.	職員 2 人採用	定員 36 人 (実員 33 人)
5.	南陽市と消防相互応援協定締結	
43. 1.	救急車配備 (トヨタ クラウンバン)	
2.	救急業務開始	
4.	職員 2 人採用	定員 36 人 (実員 35 人)
12.	消防ポンプ自動車配備 (日産 キャリア)	
44. 4.	職員 2 人採用 (他に事務職員 1 人)	定員 36 人 (実員 37 人)
	消防署南出張所開設 (初代所長 土屋助蔵氏以下 8 人配置) (株) 西村建設	
6.	指令車配備	
7.	職員 1 人採用	定員 36 人 (実員 38 人)
45. 4.	職員 1 人採用	定員 36 人 (実員 39 人)
8.	消防ポンプ自動車配備 (いすゞ TXG10)	
46. 12.	消防ポンプ自動車配備 (日産 パトロール)	
47. 4.	職員 3 人採用	定員 39 人 (実員 39 人)
5.	赤バイク配備 (ヤマハ 350cc)	
7.	損害保険協会より消防ポンプ自動車 (損保号) 寄贈 (トヨタ ランドクルーザー)	
48. 4.	職員 6 人採用	定員 45 人 (実員 45 人)
6.	毎月 1 日を市民防火の日に設定	
49. 3.	新消防庁舎完成 (石崎一丁目 7 番 46 号) 4 月 1 日業務開始 (株) 西村建設	
	消防ポンプ自動車配備 (日産 パトロール)	
4.	職員 6 人採用	定員 51 人 (実員 51 人)
7.	東北救助技術指導会初出場 (ロープ登はん・ロープブリッジ渡過)	

昭和 49. 9. 12.	防火推進モデル地区を指定（松山地区） 日本自動車工業会より救急車寄贈（日産 シビリアン）
50. 4. 12.	職員 6 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 山形県消防学校派遣（山形県技術吏員併任） 山形県農業共済協同組合連合会より救急車寄贈（日産 シビリアン） 中山地区簡易水道布設に伴い消火栓 2 8 基新設
51. 4. 5.	消防署北出張所開設（初代所長 土屋助蔵氏以下 9 人配置）（株）西村建設 元上山市消防本部消防司令長 渡辺帝吉氏 勲七等青色桐葉章受章
52. 11.	小倉簡易水道布設に伴い消火栓 3 0 基新設（中川地区）
53. 3. 4.	山形県広域消防相互応援協定締結 職員 2 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人）
54. 4. 9.	職員 1 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 化学消防ポンプ自動車新規配備（いすゞ フォワード）
55. 8. 11.	日本消防協会より指令広報車寄贈（トヨタ カリーナ） 上山市少年婦人防火委員会設立（初代会長 工藤三蔵氏就任）
56. 4. 11. 12.	職員 1 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 上水道宮川簡易水道布設に伴い消火栓 6 7 基設置（本庄・東・宮生・中川地区） 上山市中部コミュニティ防災センター完成 山形県農業共済協同組合連合会より救急車寄贈（日産 ホーミー）
57. 1. 4. 6. 7. 9. 10.	地区単位自主防災組織設立開始（防火推進モデル地区指定地域） 職員 1 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 山形県消防学校派遣（山形県技術吏員併任） 宮川簡易水道延長に伴い消火栓 3 3 基増設（東・宮生・中川地区） 山形県防災行政無線設置（県下市町村全域） 水槽付消防ポンプ自動車配備（いすゞ フォワード） 月岡公園内望楼解体撤去（上山城建設に伴い） 株式会社杵屋本店より指令車寄贈（トヨタ クラウン）
58. 3. 4. 5. 9. 10.	広報塔設置（新町台地区） 職員 1 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 多回線応答専用電話装置設置（テレホンサービス実施） 山形県総合防災訓練開催（県知事を統監として実施） 上山市北部コミュニティ防災センター完成（北出張所敷地内）
59. 4. 9.	職員 1 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 日本消防協会より救急車寄贈（日産 キャラバン）
60. 4. 12.	職員 1 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 消防ポンプ自動車配備（いすゞ エルフ）
61. 4.	元上山市消防本部消防司令長 土屋助蔵氏 勲六等瑞宝章受章
62. 4.	職員 2 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 元上山市消防本部消防司令長 小杉音吉氏 勲六等瑞宝章受章
63. 4. 8. 10.	職員 1 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 日本消防協会より指令広報車寄贈（三菱 ランサー） 日本損害保険協会より救助工作車寄贈（いすゞ フォワード） 上山市婦人防火連絡協議会設立（初代会長 折橋もよ氏就任）
平成元. 4. 11. 12.	職員 1 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 元上山市消防本部消防司令長 会田賢次郎氏 勲五等瑞宝章受章 消防庁舎 1 階外壁補修 日本防火協会より防火広報車寄贈（いすゞ ファーゴ） 高圧ガス（圧縮空気）製造施設設置（株）山形酸素 路上掲出自動表示灯設備設置
2. 3. 3. 4. 5. 8.	消防緊急情報システム（指令台）更新（株）NEC 上山市火災予防条例改正 職員 3 人採用 定員 5 7 人（実員 5 7 人） 元上山市消防本部消防司令 鈴木良雄氏 勲六等単光旭日章受章 補助訓練塔設置 関東梯子（株） 消防庁舎前敷地一部舗装（株）松田建設

平成 2. 8. 10. 12.	水防倉庫移設（都市開発課美咲町事務所 プレハブ製） 消防庁舎屋上防水工事及び煙突補修工事（株）山建工業 消防職員〇Ｂ会設立（初代会長 増 正記氏） 消防ポンプ自動車更新（三菱 キャンター４WD）
3. 1. 4. 10.	日本自動車工業会より救急車寄贈（日産 キャラバン４WD） 本部に情報管理係新設 職員１人採用 定員５７人（実員５７人） 消防庁舎前敷地一部舗装工事完成（株）松田建設 消防ポンプ自動車更新（三菱 キャンター４WD）
4. 3. 4. 5. 10. 11.	消防庁舎（車庫他）アスベスト飛散防止工事（株）東北技研 消防無線基地局更新 消防署北出張所に救急車配備 職員１人採用 定員５７人（実員５７人） 救急無線装置の増設（基地局・移動局） 救急車更新（トヨタ Ambulance ４WD） 消防庁舎及び訓練塔改修工事（株）山建工業 高圧ガス施設内に大型ボンベ増設工事（株）山形酸素
5. 2. 3. 4. 12. 25	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新（日野 レンジャー４WD） 消防庁舎変電設備工事（キューピクル式）（株）富士電気工事 週４０時間勤務制導入 職員１人採用 定員５７人（実員５７人） 山形県消防学校派遣（山形県技術吏員併任） 車庫内排気ガス除去設備工事（株）ユアテック
6. 3. 31 4. 1 7. 15 9.	消防庁舎北側擁壁完成（株）丹野建設 南・北出張所、休・祭日を含む日勤（毎日勤務）体制（各所４名配属）に改正 本部に救急救助係新設 職員１人採用 定員５７人（実員５７人） 第１３回山形県婦人防火大会開催（上山市体育文化センター） 消防庁舎等改修工事（床改修）（株）東北技研
7. 2. 4. 17 6. 2 7. 10. 24 30 11. 14 12.	地図等検索装置及び気象情報収集装置設置（株）NEC、（株）ナショナル 上山市自主防災組織連絡協議会設立（初代会長 山川十一郎氏就任） 上山市少年婦人防火委員会が日本防火協会会長表彰を受賞 消防庁舎内部塗装工事 上山市塗装組合 消防署南出張所トイレ水洗化工事（株）町田工務所 救急救命士誕生（１４年度までに毎年１名を資格取得研修所へ派遣） 緊急消防援助隊発足 自主防災資機材整備（消火栓ボックス、消火器等） 山形県消防広域応援隊に関する覚書を締結 （県下１５消防本部４３隊 隊員約２００名） 化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新（いすゞ フォワード４WD）
8. 6. 28 7. 8. 22 11. 11	救急救命処置資器材購入（半自動式除細動器・気道確保器具・静脈路確保器具等） 緊急連絡システム「おつたえ君」設置 指令車更新（マツダ MPV ４WD） 北出張所アスベスト飛散防止工事（株）東北技研 上山市消防本部消防職員委員会設置 宮城県仙南広域行政組合消防本部と消防相互応援協定締結
9. 4. 6.	職員１人採用 定員５７人（実員５７人） 庁舎地下タンク配管替工事
10. 4. 11. 9 12. 25	職員１人採用 定員５７人（実員５７人） 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）寄贈 （三菱ふそう FIGHTER） 高規格救急車配備（トヨタ ハイメディック）、高度救命処置用資機材購入
11. 4. 1 27	消防署南・北出張所完全日勤（毎日勤務）体制（各所３名配属）に改正 山形県消防学校派遣（山形県技術吏員併任） 第５８回全国消防長会人事教養委員会開催

平成 11.	8.	10	上山市消防本部消防ボランティア発足	
	9.	1	山形県総合防災訓練開催	
	10.	1	消防緊急情報システム事案処理装置（地図検索）更新	
	11.	3	元上山市消防本部消防司令長 佐々木友次氏 勲六等単光旭日章受章 元上山市消防本部消防司令長 鈴木直一氏 同上	
	12.	24	消防署南出張所汚泥浄化槽から農村集落排水事業に切替え	
12.	3.	31	高規格救急車用無線機更新	
	4.		職員 1 人採用	定員 5 7 人（実員 5 7 人）
	6.		災害用市民生活用品整備事業開始（財）救急振興財団から救急普及啓発器材寄贈	
13.	2.	21	防火広報車更新（トヨタ タウンエース）	
	5.	7	元上山市消防本部消防司令 伊東 哲氏 勲六等単光旭日章受章	
	7.	31	電子式自動電話交換機更新	
	10.	10	水防倉庫改築	
14.	2.	1	防災行政無線設備更新	
	4.	1	消防署に救急救助係を移すとともに、消防係を新設して 4 係制とする	
15.	4.		山形県消防防災航空隊派遣（1 名 3 年間）	
	6.		高速道路災害出動対策としてストロボライトを車両 3 台に装備	
	11.	3	元上山市消防本部消防監 高橋悦雄氏 瑞宝双光章受章（栄典制度改正） 元上山市消防本部消防司令長 村上 勲氏 瑞宝単光章受章	
16.	1.	29	指令広報車更新（マツダ ボンゴバン）	
	4.		職員 2 人採用	定員 5 7 人（実員 5 2 人）
	5.		元上山市消防本部消防司令長 庄司吉三郎氏 瑞宝単光章受章	
	11.		元上山市消防本部消防司令長 佐藤正美氏 同上	
17.	2.		上山ライオンズクラブよりバルーンライトシロコー式寄贈 日本損害保険協会より脊椎固定器具（ショートボード）3 基寄贈	
	4.		職員 2 人採用	定員 5 7 人（実員 5 2 人）
	5.		元上山市消防本部消防司令 井田 昇氏 瑞宝単光章受章	
	11.	18	アステラス製薬㈱より高規格救急車寄贈（トヨタ ハイメディック）	
18.	3.	15	携帯 1 1 9 番直接受信開始	
		28	羽越線列車事故に係る救助活動従事により、国土交通大臣から感謝状及び消防庁長官から褒状授与	
	4.		羽越線列車事故に係る救助活動従事により、東日本旅客鉄道㈱（J R 東日本）より A E D 寄贈	
19.	3.	1	高機能消防指令センター運用開始	
	4.	1	消防署南・北出張所廃止	
20.	4.	29	元上山市消防本部消防監 中村宏太郎氏 瑞宝双光章受章	
	7.	22	庁舎屋上広報看板更新	
		31	岩手・宮城内陸地震に係る緊急消防援助隊活動により、消防庁長官から褒状授与 車庫オーバードア改修	
	9.	17	岩手県沿岸北部地震に係る緊急消防援助隊活動により、消防庁長官から褒状授与	
	11.	4	山形県消防長会秋季総会開催	
21.	4.	1	職員 4 人採用	定員 5 7 人（実員 5 1 人）
			山形県消防防災航空隊派遣（1 名 3 年間）	
	6.	12	救命ボート更新	
	7.	31	車庫オーバードア改修	
	8.	31	高度救急救命用処置資器材配備	
	9.	9	アステラス製薬㈱より高規格救急車寄贈（トヨタ ハイメディック）	
		28	気象観測機器更新 元上山市消防本部消防監 菅沼 勝氏 瑞宝双光章受章	
22.	2.	26	消防本部旗更新	
	4.	1	職員 3 人採用	定員 5 5 人（実員 5 1 人）
	6.	1	電話交換機更新（IP サーバー型）	
	7.	1	防火広報車更新（三菱デリカ）	
		31	車庫オーバードア改修	

平成 23.	4.	1	職員 2 人採用	定員 5 5 人 (実員 5 1 人)
	7.	29	車庫オーバードア改修	
		31	エアーテント配備	
	10.	24	救助工作車Ⅱ型配備 (日野 レンジャー)	
24.	4.	1	職員 3 人採用	定員 5 5 人 (実員 5 3 人)
	5.	8	元上山市消防本部消防司令長 山口 義昭氏 瑞宝単光章受章	
	10.	1	資機材搬送車配備 (トヨタ ダイナ)	
			C D - I 型ポンプ自動車更新 (日野 デュトロ)	
	11.	21	(財) 救急振興財団より救急普及啓発広報車寄贈 (日産 シビリアン)	
25.	3.	18	消防救急デジタル無線施設整備工事完了 (試験運用開始)	
	4.	1	消防救急デジタル無線施設運用開始	
			職員 2 人採用	定員 5 5 人 (実員 5 4 人)
	5.	8	元上山市消防本部消防司令長 柏倉 武氏 瑞宝単光章受章	
	11.	15	高規格救急自動車更新 (日産 パラメディック)	
		18	水槽付消防ポンプ自動車 (水 I - A 型) 更新 (日野 レンジャー)	
26.	4.	1	職員 6 人採用	定員 5 5 人 (実員派遣者等含む 5 4 人)
			山形県消防学校派遣	
	6.	30	庁舎内外放送アンプ更新整備	
	8.	20	指揮広報車 (トヨタ エスティマ) 更新	
	10.	31	消防庁舎暖房工事	
	11.	30	消防庁舎及び訓練塔耐震補強工事	
27.	3.	25	訓練塔アスベスト除去工事	
	4.	1	職員 4 人採用	定員 5 5 人 (実員派遣者等含む 5 2 人)
			山形県消防学校派遣	
	10.	16	消防庁舎防水工事	
28.	3.	9	水防倉庫新築解体工事	
		16	仮眠室改修工事	
	4.	1	職員 3 人採用	定員 5 5 人 (実員派遣者等含む 5 2 人)
	7.	14	空気充填施設更新	
		29	第 4 5 回東北救助技術指導会出場 (ロープブリッジ救出)	
	8.	24	第 4 5 回全国救助技術大会初出場 (ロープ応用登はん)	
	11.	3	元上山市消防本部消防司令長 木村 幹男氏 瑞宝単光章受章	
	12.	16	高規格救急自動車更新 (トヨタ ハイメディック)	
29.	4.	1	職員 3 人採用	定員 5 5 人 (実員派遣者等含む 5 5 人)
		29	元上山市消防本部消防司令長 加藤 芳雄氏 瑞宝単光章受章	
	7.	19	第 4 6 回東北救助技術指導会出場 (ロープブリッジ救出)	
30.	3.	12	高機能消防指令センター運用開始	
	4.	1	職員 3 人採用	定員 5 5 人 (実員派遣者等含む 5 5 人)
			山形県消防防災航空隊派遣 (1 名 3 年間)	
		29	元上山市消防本部消防司令 佐藤 義之氏 瑞宝単光章受章	
	12.	17	水槽付消防ポンプ自動車 (水Ⅱ型) 更新 (日野 レンジャー)	
31.	4.	1	職員 2 人採用	定員 5 5 人 (実員派遣者等含む 5 5 人)
令和元.	11.	3	元上山市消防本部消防司令 松田 眞氏 瑞宝単光章受章	
2.	4.	1	職員 6 人採用	定員 5 5 人 (実員派遣者等含む 5 5 人)
		29	元上山市消防本部消防監 吉田 俊文氏 瑞宝双光章	
	11.	3	元上山市消防本部消防司令 斎藤 茂雄氏 瑞宝単光章	
	12.	18	花国技建株式会社より高規格救急自動車寄贈 (トヨタ ハイメディック)	
3.	4.	1	職員 4 人採用	定員 5 5 名 (実員派遣者等含む 5 5 人)
		29	元上山市消防本部消防司令 木村 雅幸氏 瑞宝単光章受章	
	6.	9	第 4 9 回全国消防救助技術大会出場 (ロープ応用登はん)	
			※新型コロナウイルス感染拡大のため全国大会中止	
	9.	30	消防庁舎改修・増築工事	

令和 4.	3.	2	上山市消防本部・消防団 消防庁長官表彰 竿頭授受章
	3.	29	災害対応広報車 更新（トヨタ ハイエース）
	4.	1	職員 1 人採用 定員 5 5 名（実員派遣者等含む 5 5 人）
令和 5.	4.	1	職員 1 人採用 定員 5 5 名（実員派遣者等含む 5 5 人）
			山形県消防防災航空隊派遣（1 名 3 年間）
令和 6.	4.	1	職員 1 人採用 定員 5 5 名（実員派遣者等含む 5 5 人）
		29	元上山市消防本部消防司令長 齋藤 智昭氏 瑞宝単光章受章
令和 7.	3.	27	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線更新
		28	高規格救急自動車更新（トヨタ ハイメディック）

《 歴 代 消 防 長 等 》

1 消防長（専任）

歴代	氏 名	就 任 月 日	退 任 月 日	備 考
初代	酒 井 寿 男	昭 3 7. 6. 2 8	昭 4 3. 3. 3 1	
2 代	小 関 範 夫	昭 4 3. 4. 1	昭 4 8. 3. 3 1	昭 44. 8. 16 ～ 46. 3. 31 署長兼務
3 代	樽 正 記	昭 4 8. 4. 1	昭 4 8. 9. 3 0	
4 代	富 沢 孝 吉	昭 4 8. 1 0. 1	昭 5 1. 1 1. 2 5	
5 代	川 口 権次郎	昭 5 2. 1 1. 2 6	昭 5 4. 3. 3 1	
6 代	佐 藤 貞 蔵	昭 5 4. 4. 1	昭 5 7. 3. 3 1	
7 代	岸 周 治	昭 5 7. 4. 1	昭 6 0. 3. 3 1	
8 代	阿 部 忠	昭 6 0. 4. 1	昭 6 1. 3. 3 1	
9 代	高 橋 悦 雄	昭 6 1. 4. 1	平 元. 3. 3 1	
10 代	木 村 嘉 幸	平 元. 4. 1	平 3. 3. 3 1	
11 代	中 村 宏太郎	平 3. 4. 1	平 5. 3. 3 1	
12 代	加 藤 満 雄	平 5. 4. 1	平 9. 3. 3 1	
13 代	高 橋 弘	平 9. 4. 1	平 1 0. 3. 3 1	
14 代	五十嵐 裕 一	平 1 0. 4. 1	平 1 3. 3. 3 1	
15 代	菅 沼 勝	平 1 3. 4. 1	平 1 6. 3. 3 1	
16 代	関 根 敏 也	平 1 6. 4. 1	平 1 7. 3. 3 1	
17 代	鏡 力 男	平 1 7. 4. 1	平 2 1. 3. 3 1	
18 代	井 上 順 一	平 2 1. 4. 1	平 2 3. 3. 3 1	
19 代	佐 竹 康 弘	平 2 3. 4. 1	平 2 4. 3. 3 1	
20 代	吉 田 俊 文	平 2 4. 4. 1	平 2 7. 3. 3 1	
21 代	木 村 利 明	平 2 7. 4. 1	平 2 8. 3. 3 1	
22 代	佐 藤 浩 章	平 2 8. 4. 1	令 3. 3. 3 1	
23 代	黒 田 彰 久	令 3. 4. 1	現 在	

2 消防次長

歴代	氏 名	就 任 月 日	退 任 月 日	備 考
初代	高 橋 悦 雄	昭 5 0. 4. 1	昭 6 1. 3. 3 1	署長兼務
2 代	小 西 稔	昭 6 1. 4. 1	昭 6 3. 6. 3 0	
3 代	佐 藤 正 美	昭 6 3. 7. 1	平 元. 3. 3 1	署長兼務
4 代	中 村 宏太郎	平 元. 4. 1	平 3. 3. 3 1	署長兼務
5 代	鈴 木 直 一	平 3. 4. 1	平 5. 3. 3 1	署長兼務
6 代	村 上 勲	平 5. 4. 1	平 9. 3. 3 1	平 5. 4. 1 ～ 7. 3. 31 署長兼務
7 代	菅 沼 勝	平 9. 4. 1	平 1 3. 3. 3 1	
8 代	山 口 義 昭	平 1 3. 4. 1	平 1 5. 3. 3 1	署長兼務
9 代	柏 倉 武	平 1 5. 4. 1	平 1 6. 3. 3 1	署長兼務
10 代	岩 瀬 静 一	平 1 6. 4. 1	平 1 7. 3. 3 1	署長兼務
11 代	木 村 幹 男	平 1 7. 4. 1	平 2 1. 3. 3 1	署長兼務
12 代	加 藤 芳 雄	平 2 1. 4. 1	平 2 3. 3. 3 1	署長兼務
13 代	吉 田 俊 文	平 2 3. 4. 1	平 2 4. 3. 3 1	署長兼務
14 代	斎 藤 智 昭	平 2 4. 4. 1	平 2 6. 3. 3 1	署長兼務
15 代	大 場 佐 俊	平 2 6. 4. 1	平 2 7. 3. 3 1	署長兼務
16 代	佐 藤 浩 章	平 2 7. 4. 1	平 2 8. 3. 3 1	署長兼務
17 代	黒 田 彰 久	平 2 8. 4. 1	令 3. 3. 3 1	署長兼務
18 代	高 橋 克 弘	令 3. 4. 1	現 在	令 3. 4. 1～令 7. 3. 31 署長兼務

3 消防署長

歴代	氏 名	就 任 月 日	退 任 月 日	備 考
初代	相 原 富 治	昭 2 6 . 5 . 1 6	昭 2 9 . 3 . 1 6	
2 代	松 田 長太郎	昭 2 9 . 1 0 . 1	昭 3 0 . 3 . 3 1	
3 代	増 正 記	昭 3 0 . 5 . 1	昭 3 4 . 2 . 5	
4 代	松 田 長太郎	昭 3 4 . 2 . 1 6	昭 3 6 . 3 . 3 1	
5 代	土 屋 森 雄	昭 3 6 . 8 . 8	昭 3 8 . 3 . 3 1	
6 代	木 村 庄次郎	昭 3 8 . 4 . 1	昭 4 4 . 8 . 1 6	
7 代	高 橋 悦 雄	昭 4 6 . 4 . 1	昭 6 1 . 3 . 3 1	
8 代	会 田 賢次郎	昭 6 1 . 4 . 1	昭 6 2 . 3 . 3 1	
9 代	佐 藤 正 美	昭 6 2 . 4 . 1	平 元 . 3 . 3 1	
10 代	中 村 宏太郎	平 元 . 4 . 1	平 3 . 3 . 3 1	
11 代	鈴 木 直 一	平 3 . 4 . 1	平 5 . 3 . 3 1	
12 代	村 上 勲	平 5 . 4 . 1	平 7 . 3 . 3 1	
13 代	菅 沼 勝	平 7 . 4 . 1	平 9 . 3 . 3 1	
14 代	坂 野 健 一	平 9 . 4 . 1	平 1 2 . 3 . 3 1	
15 代	山 口 義 昭	平 1 2 . 4 . 1	平 1 5 . 3 . 3 1	
16 代	柏 倉 武	平 1 5 . 4 . 1	平 1 6 . 3 . 3 1	
17 代	岩 瀬 静 一	平 1 6 . 4 . 1	平 1 7 . 3 . 3 1	
18 代	木 村 幹 男	平 1 7 . 4 . 1	平 2 1 . 3 . 3 1	
19 代	加 藤 芳 雄	平 2 1 . 4 . 1	平 2 3 . 3 . 3 1	
20 代	吉 田 俊 文	平 2 3 . 4 . 1	平 2 4 . 3 . 3 1	
21 代	斎 藤 智 昭	平 2 4 . 4 . 1	平 2 6 . 3 . 3 1	
22 代	大 場 佐 俊	平 2 6 . 4 . 1	平 2 7 . 3 . 3 1	
23 代	佐 藤 浩 章	平 2 7 . 4 . 1	平 2 8 . 3 . 3 1	
24 代	黒 田 彰 久	平 2 8 . 4 . 1	令 3 . 3 . 3 1	
25 代	高 橋 克 弘	令 3 . 4 . 1	令 7 . 3 . 3 1	
26 代	鏡 秀 美	令 7 . 4 . 1	現 在	

《 予 算 の あ ら ま し 》

1 令和7年度当初消防予算額

[単位：千円]

総 額	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
8 4 0 , 2 5 2	4 4 2 , 9 9 9	5 4 , 5 1 4	3 4 2 , 7 3 9

※当市予算額との割合 約4.4%

2 過去5年間の推移

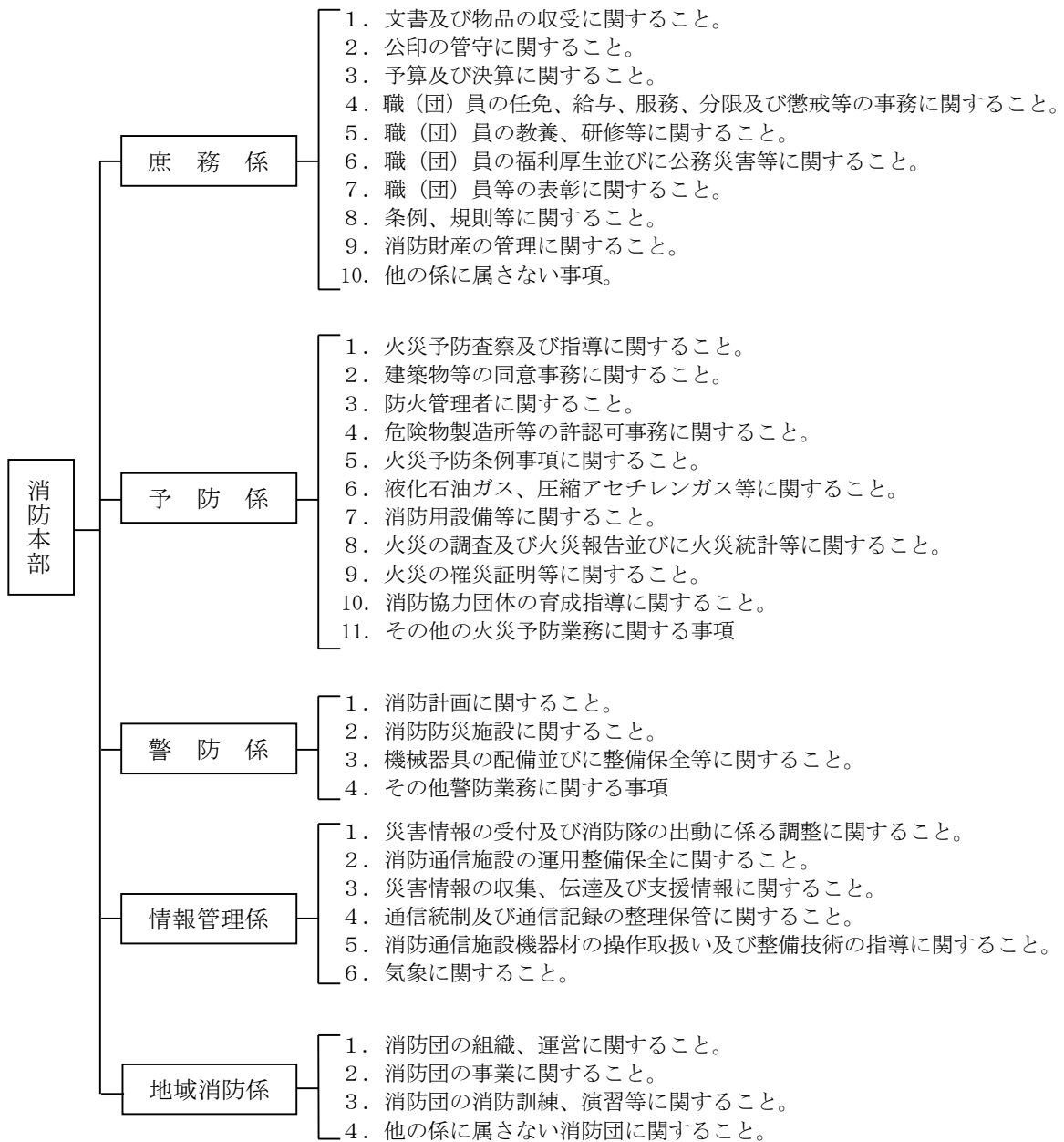
[単位：千円]

年 度	合 計	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
令和6年度	6 1 4 , 3 6 8	3 9 6 , 6 4 4	5 4 , 9 7 1	1 6 2 , 7 5 3
令和5年度	1 , 1 3 7 , 1 3 6	3 8 2 , 3 3 1	5 8 , 9 9 2	6 9 5 , 8 1 3
令和4年度	5 0 8 , 6 3 5	3 7 6 , 2 6 4	4 4 , 0 4 4	8 8 , 3 2 7
令和3年度	5 2 0 , 9 2 7	3 6 6 , 2 0 3	4 5 , 3 3 6	1 0 9 , 3 8 8
令和2年度	5 7 7 , 6 5 9	3 6 7 , 2 9 2	4 6 , 0 5 9	1 6 3 , 3 0 8

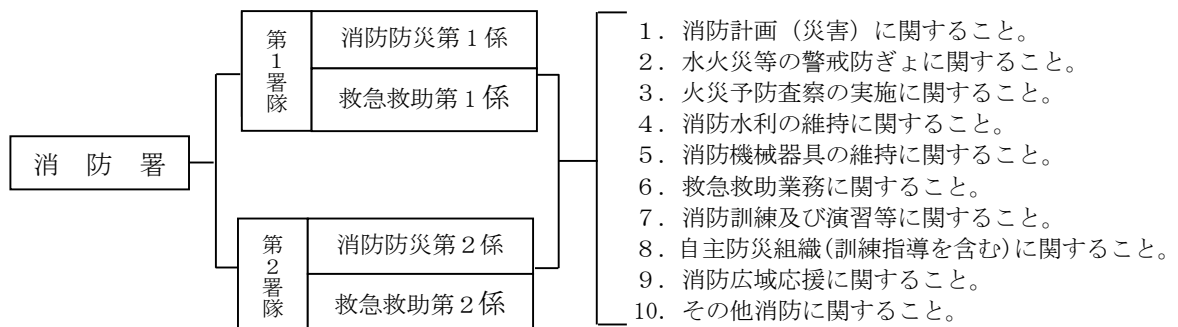
※ すべて当初予算額

《 消防本部・署の組織等 》

1 消防本部の組織と事務分掌



2 消防署の組織と事務分掌



3 配置表

(R 7. 4. 1 現在)

	総 数	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士
総 数	55	1	12	7	23	8	4
消 防 本 部	11	1	7		3		
消 防 署	44		5	7	20	8	4

4 階級別年齢及び勤続年数

(1) 階級別年齢

(R 7. 4. 1 現在)

	総 数	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士
総 数	55	1	12	7	23	8	4
年 齢	56 ～ 60	4	1	3			
	51 ～ 55	4		4			
	46 ～ 50	4		4			
	41 ～ 45	2		1	1		
	36 ～ 40	8		7	1		
	31 ～ 35	15			15		
	26 ～ 30	9			6	3	
	21 ～ 25	7				5	2
	20 以下	2					2

(2) 階級別勤続年数

(R 7. 4. 1 現在)

	総 数	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士
総 数	55	1	12	7	23	8	4
年 数	35 年以上	6	1	5			
	30 年以上	3		3			
	25 年以上	3		3			
	20 年以上	3		1	2		
	15 年以上	7		4	3		
	10 年以上	14			14		
	5 年以上	12		1	5	6	
	5 年未満	7			1	2	4

(3) 階級別平均年齢

(R 7. 4. 1 現在)

	総 数		司令長		司 令		司令補		士 長		副士長		士	
人 員	55		1		12		7		23		8		4	
年 齢 幅	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高
	20	58	58	58	45	58	36	40	27	41	23	27	20	22
平均年齢	35.9		58		51.8		37.7		32.5		24.9		20.8	

防 予



《 消 防 協 力 団 体 》

1 自主防災組織の現状

(R 7. 3. 31現在)

地域別地区数	組織地区数	組 織 地 区 名
西部 8	8	須刈田・狸森・元屋敷・菅・前丸森・入丸森・中ノ森・境
中部 49	50	二日町1・二日町2・上十日町・中十日町・下十日町・上新丁・下新丁・八日町1・八日町2・北町・栄町・美咲町・東町・矢来1・矢来2・矢来3・矢来4・沢丁・新湯・八幡丁・仲丁・湯町・長清水1・長清水2・三本松・石崎1・石崎2・河崎・松山・荒町・西山・金生1・金生2・金生3・金生4・金生5・南町・石堂・高松・石曾根・川口・糸目・仙石・中山1・中山2・葉山・軽井沢・御井戸丁・湯町新道・スカイタワー
北部 20	21	久保手・旭町・新町・四ツ谷・金瓶・泉川・金谷・足ノ口・甲石・高野・薄沢・永野・権現堂・坊平・蔵王・棚木・小倉・蔵王ペンション村・弁天・朝日台・大石
南部 23	23	藤吾・赤坂・阿弥陀地・小穴・細谷・関根・相生・三上・皆沢・檜下・赤山・柏木・牧野・原口・須田板・小笹・久保川・大門・菖蒲・宮脇・下生居・中生居・上生居
計 100	102	

2 少年婦人防火委員会

幼年消防クラブ	2団体	133人
女性防火連絡協議会	1団体	208人

3 危険物安全協会

会員数	73会員	施設数	168施設
-----	------	-----	-------

《 防 災 （ 備 蓄 ） 資 機 材 》

(R 7. 3. 31現在)

品 名	規 格	中部 コミセン	北部 コミセン	合計
発 電 器	AC100V400VA 投光機スタンドコードリール付	2	5	7
チェーンソー	排気量 32cc級 350m/m(14")	2		2
担 架	布製二つ折り式	1	1	2
給 食 用 釜			1	1
テ ン ト	18㎡以上鉄パイプ組立式		2	2
毛 布		20		20
揚 水 機	出力30PS～45PS 最大吐水量1,000ℓ/分	1		1
ろ 水 機			1	1
給 水 用 水 槽	500ℓ丸型組み立て水槽	2		2

《 防 火 対 象 物 》

防火対象物、防火管理者、立入検査数

(R7. 3. 31 現在)

(R6. 4～R7. 3)

区分 項目		防 火 対 象 物	対 象 物 数	防 火 管理者 選 任 適用数	防 火 管理者 選 任 届出数	消 防 計画書 届出数	立入 検査 実施 数	改善 指示 数
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2	1	1		
	ロ	公会堂又は集会場	54	51	16	15		
(2)	イ	キャバレー・カフェ等						
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1	1	1		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ	カラオケボックス等個室営業店舗						
(3)	イ	待合、料理店等						
	ロ	飲食店	26	21	12	10	1	
(4)		百貨店、マーケットその他の物品販売業を含む店舗又は展示場	54	40	25	21	1	
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	57	37	34	28	23	14
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	138	7	9	6		
(6)	イ	病院、診療所又は助産所	20	6	5	4	2	
	ロ	老人福祉施設、有料老人ホーム、介護老人保健施設、救護施設、更生施設、児童福祉施設、身体障害者福祉センター、障害者支援施設、地域活動支援センター、福祉ホーム等	14	14	14	14	1	
	ハ	福祉施設（通所）、グループホーム、デイサービス、保育園等	27	22	16	15		
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	4	4	4	4		
(7)		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、各種学校等	9	8	8	8	2	
(8)		図書館、博物館、美術館等	3	3	3	3		
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場等	1					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	6	5	3			
(10)		車両の停車場等						
(11)		神社、寺院、教会等	30	9	7	1		
(12)	イ	工場又は作業場	145	22	20	5	8	8
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	5	2	1	1		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
(14)		倉庫	36	1	1	1		
(15)		前各項に該当しない事業場	100	19	18	16	1	
(16)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	52	38	22	17	1	1
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	9	3	3			
(16の2)		地下街						
(16の3)		建築物の地階で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの						
(17)		重要文化財、重要有形民族文化財等の建造物	9	1	1	1	1	
(18)		延長５０メートル以上のアーケード						
(19)		市町村長の指定する山林						
(20)		総務省令で定める舟車						
		合計	802	316	224	172	41	23

《 危 険 物 》

1 危険物製造所等数量

(R 7. 3. 31日現在)

区分 製造所等別		施設数	5 倍 以下	5 倍を越え 1 0 倍以下	1 0 倍を越え 5 0 倍以下	5 0 倍を越え 1 0 0 倍以下	1 0 0 倍を越え 1 5 0 倍以下	1 5 0 倍を越え 2 0 0 倍以下	2 0 0 倍を 越えるもの
製 造 所									
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	9	7	2					
	屋外タンク貯蔵所	19	5	9	4	1			
	屋内タンク貯蔵所	3	2	1					
	地下タンク貯蔵所	44	21	12	10		1		
	簡易タンク貯蔵所	1	1						
	移動タンク貯蔵所	23	22	1					
	屋外貯蔵所	1		1					
取 扱 所	給油取扱所	16	2	1	4	1	1	2	5
	一般取扱所	24	13	8	3				
	販売取扱所								
合 計		140	73	35	21	2	2	2	5

区分 製造所等別		合 計 (単位:kg)	第 四 類						
			特殊引火物 (エーテル等)	第一石油類 (ガソリン等)	アルコール	第二石油類 (灯油・軽油等)	第三石油類 (重油等)	第四石油類 (ギヤー油等)	その他
製 造 所									
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	26,566		2,510	2,140	6,896	6,280	8,740	
	屋外タンク貯蔵所	453,600			34,000	64,600	335,000	20,000	
	屋内タンク貯蔵所	18,000				3,500	14,500		
	地下タンク貯蔵所	778,300				419,800	358,500		
	簡易タンク貯蔵所	1,194		597		597			
	移動タンク貯蔵所	84,190				54,590	29,600		
	屋外貯蔵所	17,000				3,000	14,000		
取 扱 所	給油取扱所	1,032,591		490,550		526,941	13,600	1,500	
	一般取扱所	199,468			3,960	151,843	43,665		
	販売取扱所								
合 計		2,610,909		493,657	40,100	1,231,767	815,145	30,240	

2 危険物製造所等処理

(R 6. 4. 1～R 7. 3. 31) (件)

区分 製造所等別		設置 許可	変更 許可	仮使用 承認	仮貯蔵	軽微な 変更	完成 検査前	完 成 検 査	品名数 量変更	廃止又 は休止	譲 渡 引 渡
貯 蔵 所	屋内貯蔵所										
	屋外タンク貯蔵所										
	屋内タンク貯蔵所										
	地下タンク貯蔵所				2	1					
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所									1	
	屋外貯蔵所										
取 扱 所	給油取扱所					2					
	一般取扱所		3			1		1		4	
	販売取扱所										
合 計			3		2	4		1		5	

3 危険物施設等の立入検査回数

(R 6. 4. 1～R 7. 3. 31)

製造所等別	回数	%
屋内貯蔵所		
屋外タンク		
屋内タンク		
地下タンク	3	8. 1
移動タンク	2 4	6 4. 9
屋外貯蔵所		
給油取扱所	7	1 8. 9
一般取扱所	3	8. 1
合 計	3 7	1 0 0. 0

《 火 災 予 防 》

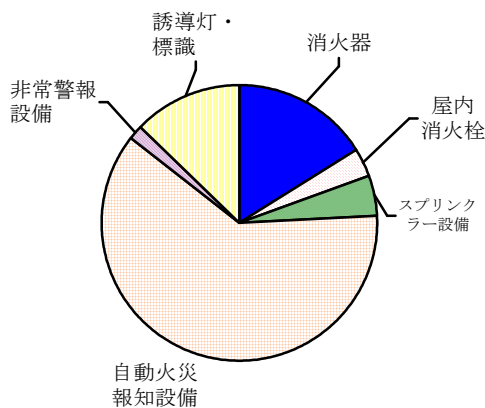
1 法令による届出

(R 6. 4. 1～R 7. 3. 3 1)

条 例	内 容	件 数
消防法第 8 条	消防計画（変更含）の届出	6 5
消防法第 8 条第 2 項	防火管理者選（解）任届出	3 9
消防法第 9 条の 3	液化石油ガス貯蔵取扱届出	1 2
液化石油ガス法第 3 8 条の 3	液化石油ガス設備工事の届出	1
消防法第 1 3 条第 2 項	危険物保安監督者選（解）任届出	4
消防法第 1 7 条の 3 の 3	消防用設備等点検結果報告	3 4 5

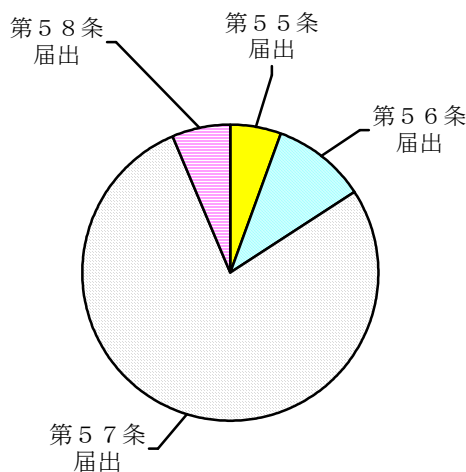
2 消防用設備等着工（設置）届出（法第 1 7 条の 3 の 2 ・ 第 1 7 条の 1 4）

(R 6. 4. 1～R 7. 3. 3 1)



	届出及び 検 査	%
消 火 器	1 0	1 6 . 1
屋 内 消 火 栓	2	3 . 2
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	3	4 . 9
自動火災報知設備	3 8	6 1 . 3
非常警報設備	1	1 . 6
誘 導 灯 ・ 標 識	8	1 2 . 9
漏電火災警報器	0	0 . 0
消 防 用 水	0	0 . 0
合 計	6 2	1 0 0 . 0

3 火災予防条例に基づく届出



	届出及び 検 査	%
第 5 5 条届出	1 1	5 . 5
第 5 6 条届出	2 1	1 0 . 4
第 5 7 条届出	1 5 6	7 7 . 6
第 5 8 条届出	1 3	6 . 5
合 計	2 0 1	1 0 0 . 0

第 5 5 条 防火対象物使用届出
 第 5 6 条 ボイラー・変電設備等設置届出
 第 5 7 条 催し物開催届出
 第 5 8 条 少量危険物貯蔵取扱届出
 指定可燃物貯蔵届出

4 広報活動

(R 6. 4. 1～R 7. 3. 3 1)

区 分	回 数 等
自 衛 消 防 訓 練	2 3 5 回
巡回広報（車両等による）	5 4 回
市 報 ・ 新 聞 等	8 回
看 板 ・ チ ラ シ ・ ポ ス タ ー	1,4 0 0 枚

《 建 築 同 意 》

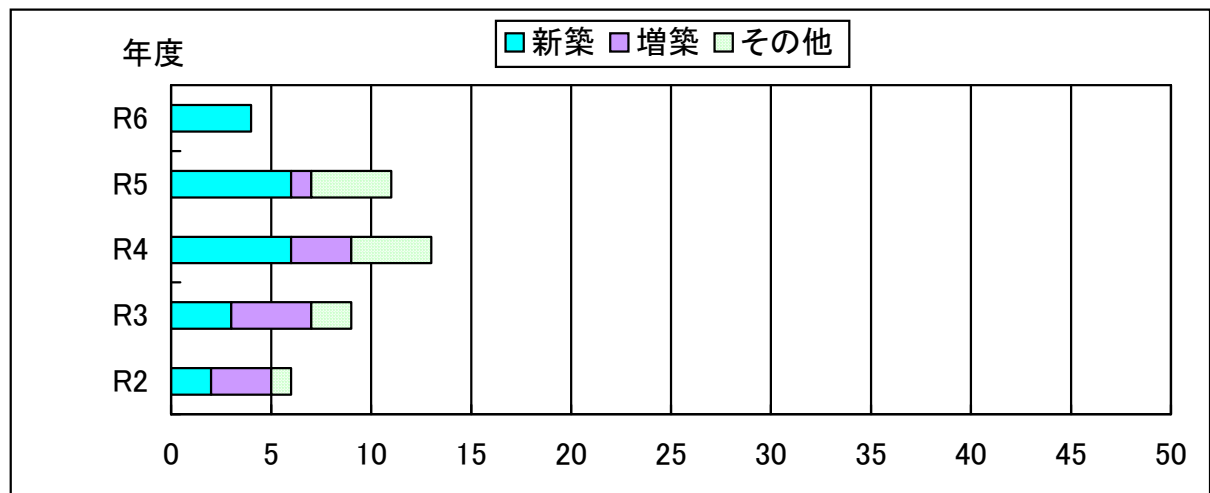
1 建築同意事務処理（月別）

（R 6. 4. 1～R 7. 3. 3 1）

月別 種別		合計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
同意		4		1		1						1	1	
不同意														
種 別	新 築	4		1		1						1	1	
	増 築													
	改 築													
	増改築													
	用途変更													
	工作物													
	仮 設													
	計画変更													
合 計		4		1		1						1	1	

2 過去5年間の建築同意事務処理（対象物）

	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数
新 築	100.0	4	54.5	6	46.2	6	33.3	3	33.3	2
増 築			9.1	1	23.1	3	44.4	4	50.0	3
その他			36.4	4	30.8	4	22.2	2	16.7	1
合 計	100.0	4	100.0	11	100.0	13	100.0	9	100.0	6



《 火 災 概 要 》

1 火災発生状況

(1) 主な項目の前年対比

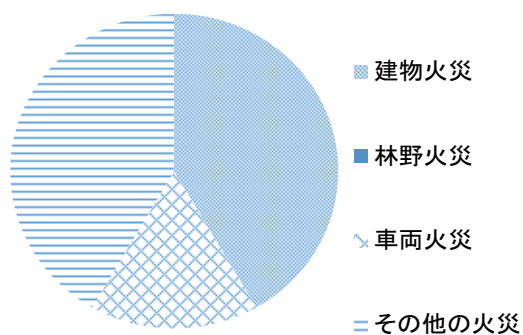
(△：減)

年 別 区 分		令和 5年	令和 6年	増 減	年 別 区 分		令和 5年	令和 6年	増 減
出 火 件 数		16	12	△4	損 害 額 (千 円)		80,648	34,533	△46,115
火 災 種 別	建 物	8	5	△3	火 災 種 別	建 物	79,271	21,441	△57,830
	林 野	1	0	△1		林 野	51		△51
	車 両	2	2			車 両	1,326	6,488	5,162
	その他	5	5			その他	0	6,604	6,604
焼 損 棟 数		36	11	△25	出 火 率 (人口1万人当たり) (件)		5.7	4.4	△1.3
程 度 別	全 焼	10	6	△4	火 災 1 件 当 た り の 損 害 額 (千円)	5,041	2,878	△2,163	
	半 焼	0	0						
	部分焼	7	3	△4					
	ぼ や	19	2	△17					
建物焼損面積 (㎡)		1,956	137	△1,819					
建物焼損表面積 (㎡)		121	140	19					
林野焼損面積 (a)		7	0	△7	建 物 火 災 1 件 当 た り の 焼 損 面 積 (㎡)		244.5	27.4	△217.1
死 者		2	0	△2					
負 傷 者		6	3	△3					
り 災 世 帯 数		20	5	△15					
り 災 人 員		55	13	△42	建 物 火 災 1 件 当 た り の 損 害 額 (千円)		9,909	4,288	△5,621
住家程度別	全 損	4	1	△3					
	半 損	0	0						
	小 損	16	4	△12					

(2) 月別の前年対比

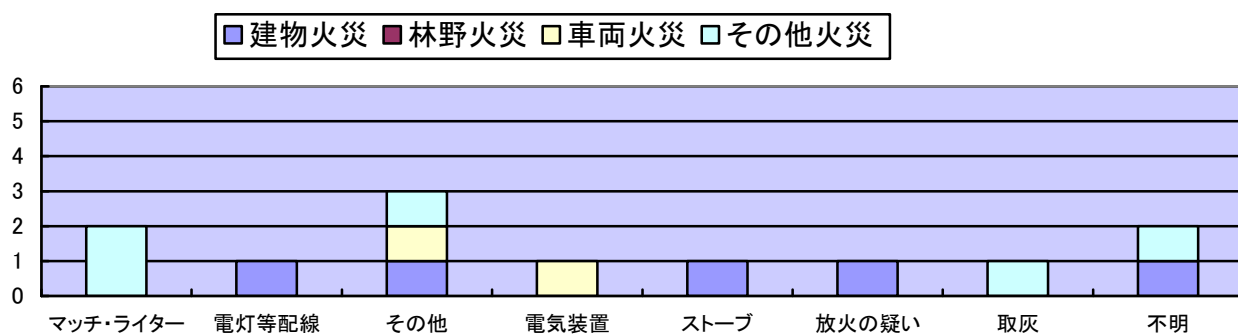
区 分		件 数	火 災 種 別				爆 発	焼 損 面 積			損害額 (千円)	死 者	負 傷 者
月 別	年 別		建物	林野	車両	その他		床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	林 野 (a)			
合 計	6	12	5		2	5		137	140		34,533		3
	5	16	8	1	2	5		1,956	121	7	80,648	2	6
1	6	1	1								482		
	5	1	1						1		11		1
2	6	0											
	5	3	3					417	11		15,583	1	2
3	6	2			1	1					5,688		
	5	3	1			2		199			7,169		1
4	6	3				3					6,604		
	5	3		1		2				7	51		
5	6	3	3					57	133		13,592		3
	5	2	1			1					3		2
6	6	0											
	5	3	1		2			929	16		44,664		
7	6	0											
	5	0											
8	6	2	1			1		80	7		7,367		
	5	1	1					411	93		13,167		
9	6	0											
	5	0											
10	6	0											
	5	0											
11	6	1			1						800		
	5	0											
12	6	0											
	5	0											

(3) 火災種別の比較

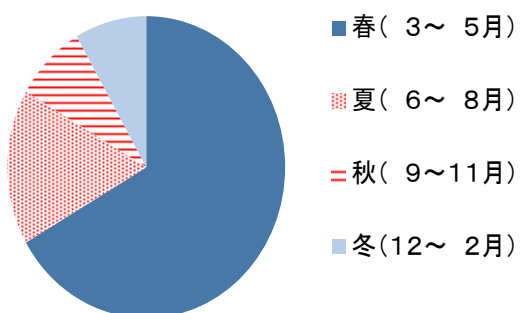


火災種別	件数
建物火災	5
林野火災	0
車両火災	2
その他の火災	5
合 計	12

(4) 出火原因の比較



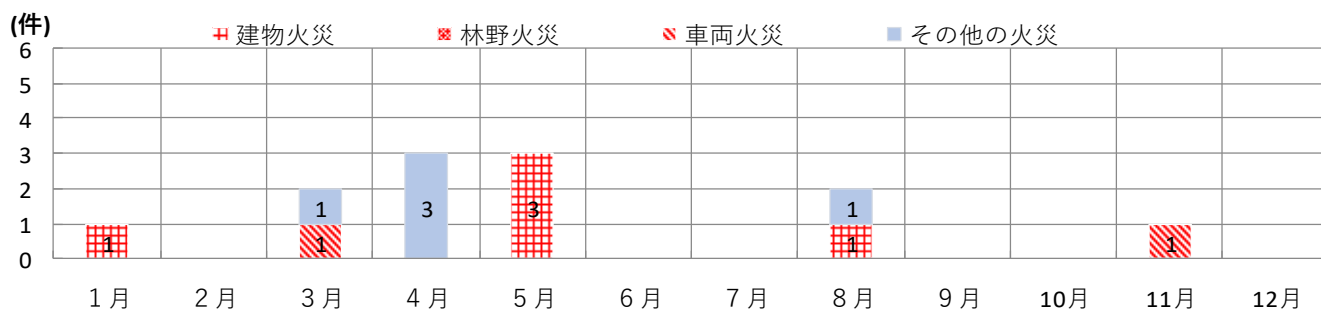
(5) 四季別の発生件数



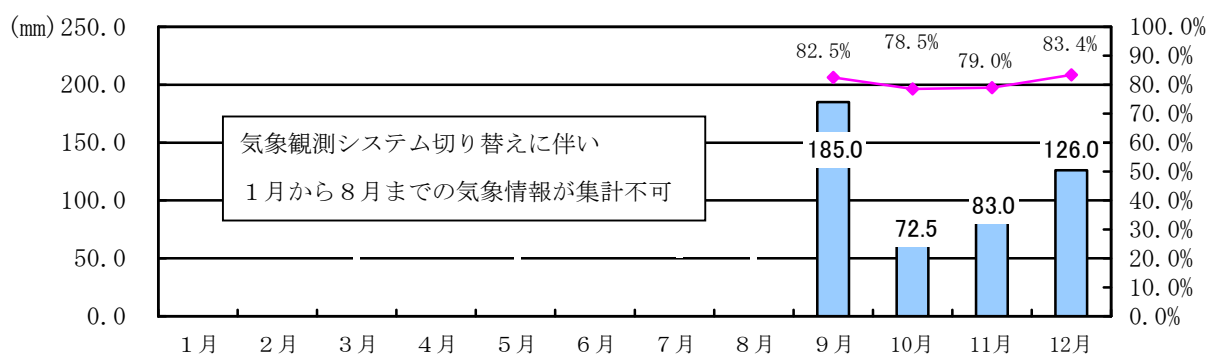
四 季 別	件数
春 (3 ~ 5 月)	8
夏 (6 ~ 8 月)	2
秋 (9 ~ 1 1 月)	1
冬 (1 2 ~ 2 月)	1
合 計	12

(6) 月別の比較（降水量・湿度との関係）

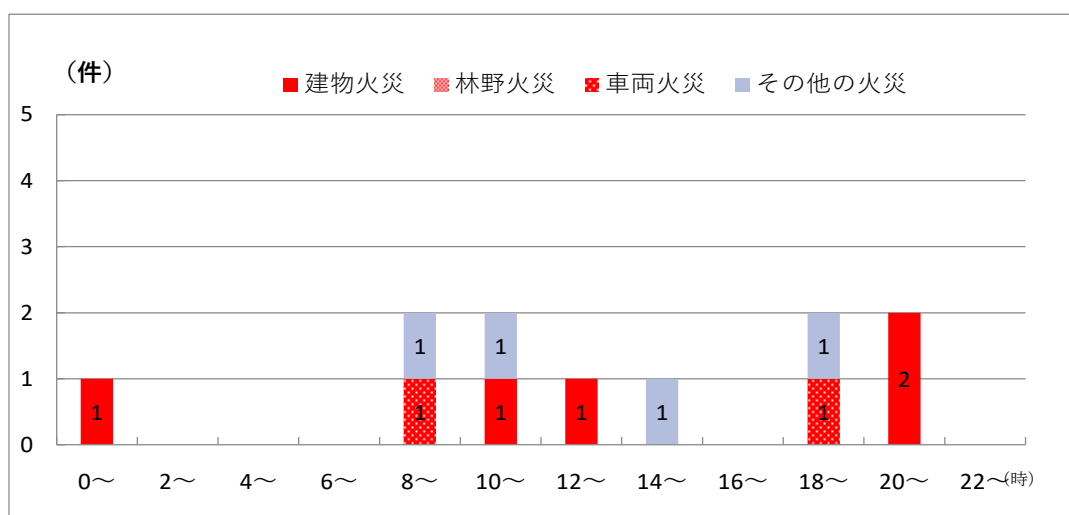
① 火災種別ごとの発生件数



② 降水量（月合計）及び湿度（月平均相対湿度）

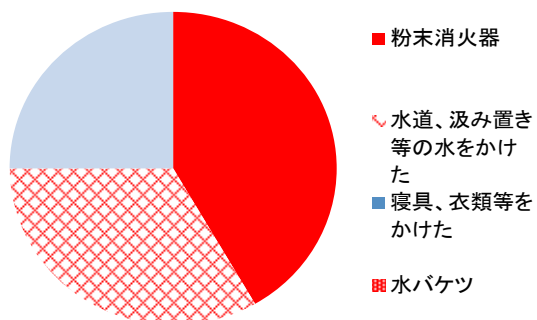


(7) 発生時間帯別の比較



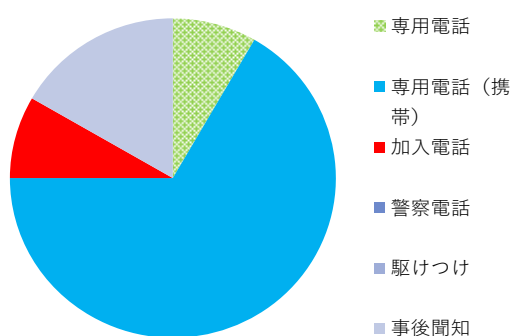
※その他の火災 1 件については発生時間不明のため除く。

(8) 初期消火の実態



使用器具	件数	効果有 (件)
粉末消火器	5	3
水道、汲み置き等の水をかけた	4	1
寝具、衣類等をかけた	0	
水バケツ	0	
もみ消した	0	
その他	0	
未実施	3	
合 計	12	4

(9) 覚知別の火災状況



覚知種別	件数	建物	林野	車両	その他
専用電話	1				1
専用電話（携帯）	8	3		2	3
加入電話	1				1
警察電話	0				
駆けつけ	0				
事後聞知	2	2			
合 計	12	5	0	2	5

◎専用電話とは、火災報知専用電話１１９番をいう。

◎専用電話（携帯）とは、携帯電話からの１１９番をいう。

◎加入電話とは、一般加入電話６７２－１１９０をいう。

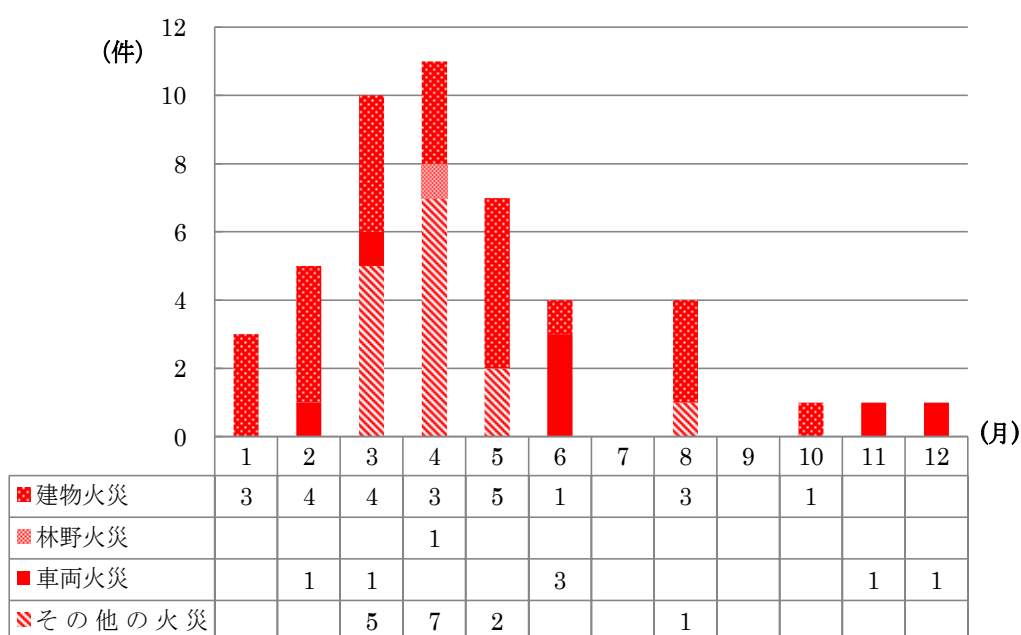
◎警察電話とは、消防本部と警察署間の専用（内線）電話をいう。

◎駆けつけ通報とは、最寄りの消防機関に駆けつけて通報したことをいう。

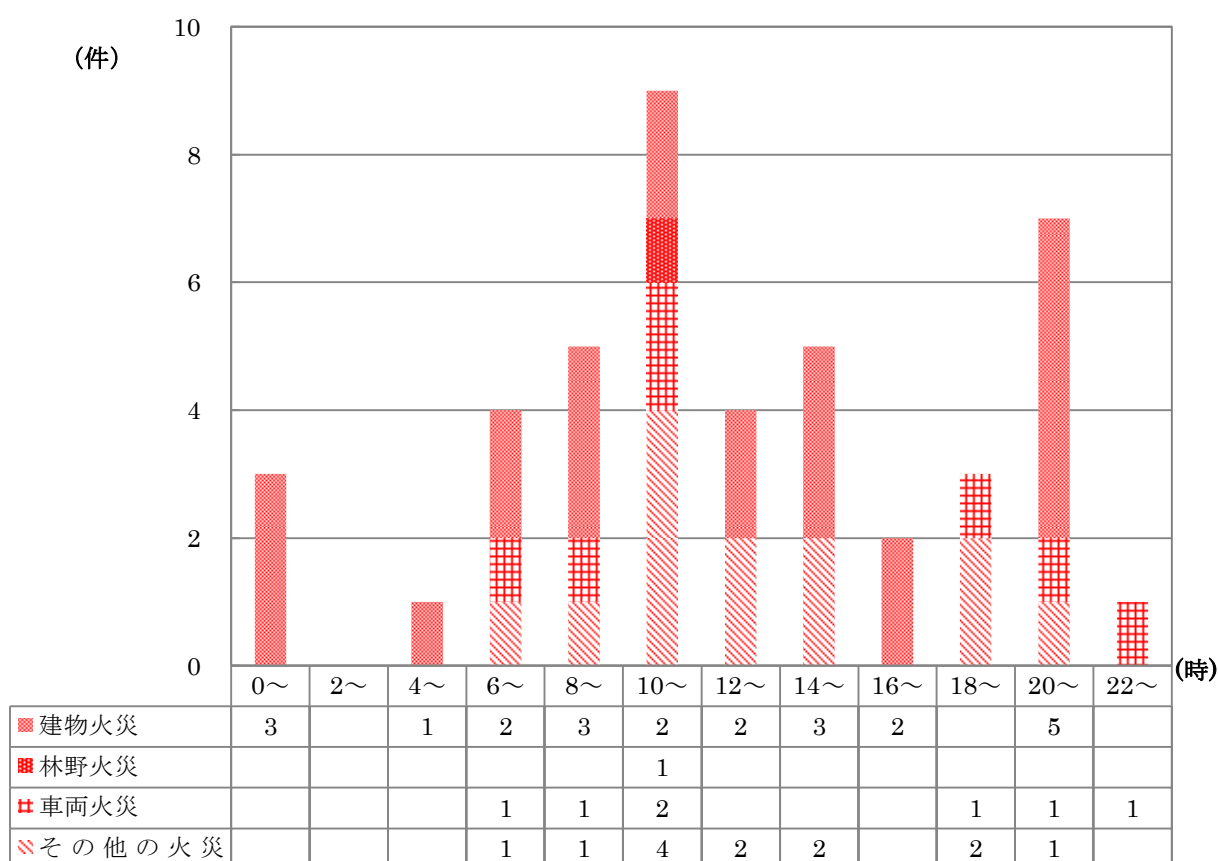
◎事後聞知とは、鎮火後に消防機関が覚知したものをいう。

2 過去５年間の発生件数累計

(1) 月別の比較



(2) 時間帯別の比較

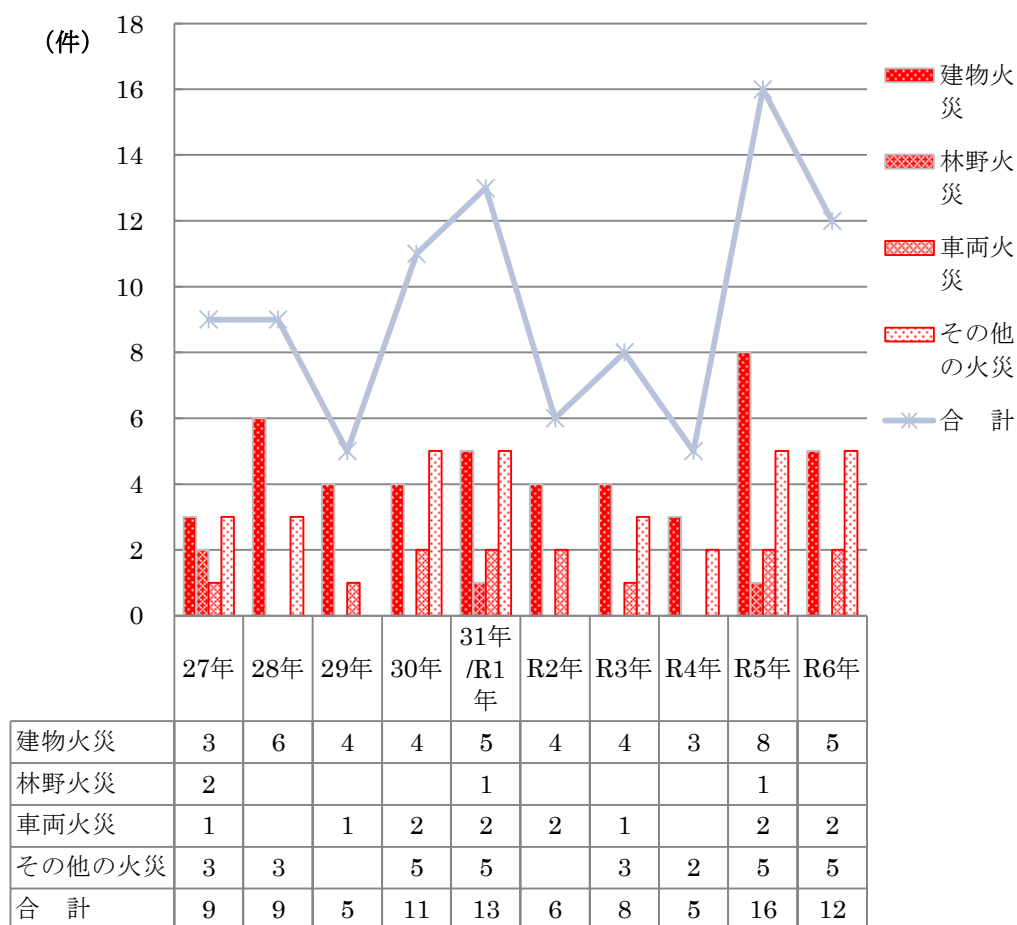


3 過去10年間の比較

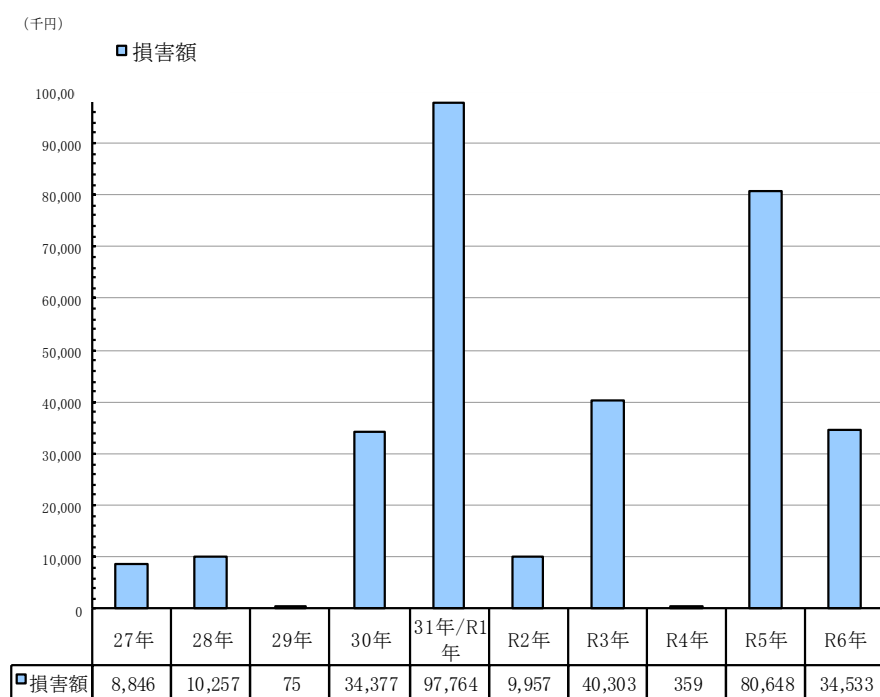
(1) 火災発生状況

		27	28	29	30	31/R元	R2	R3	R4	R5	R6
火災種別	建物	3	6	4	4	5	4	4	3	8	5
	林野	2				1				1	
	車両	1		1	2	2	2	1		2	2
	その他	3	3		5	5		3	2	5	5
合計		9	9	5	11	13	6	8	5	16	12
爆発						1					
建物焼損面積		425	218	5	600	182	302	969	5	1,956	137
建物焼損表面積		68		2	104	1	11	43		121	140
建物火災1件当たりの焼損面積		141.7	36.3	1.3	150.0	36.4	75.5	242.3	1.7	244.5	27.4
損害額(千円)		8,846	10,257	75	34,377	97,764	9,957	40,303	359	80,648	34,533
火災1件当たりの損害額(千円)		983	1,140	15	3,125	7,520	1,660	5,038	72	5,041	2,878
死者		1						3		2	
負傷者		1	2		7	4		2	1	6	3
市民一人当たりの損害額(円)		275	324	2	1,129	3,230	334	1,385	12	2,872	1,252
出火率(人口1万人当たり) (件)		2.8	2.8	1.6	3.6	4.3	2.0	2.7	1.7	5.7	4.4

(2) 火災種別の比較



(3) 損害額の比較



4 過去の特種火災及び風水害

(1) 特種火災

年 月 日	出 火 場 所	焼 失 程 度
平成31. 2. 6	山形バイオマスエネルギー発電所	爆発火災 工場及び住宅等19棟損壊 車両1台損傷 負傷者1名
平成 3. 3.18	三 上	住宅1棟全焼 他2棟部分焼 焼死者4名 195㎡
昭和49.10.10	武田食品工場	8棟全半焼 1,709㎡
"47. 6.13	赤 山	20棟全半焼 1,308㎡
"47. 5.29	関 根	4棟全半焼 8棟部分焼 394㎡
"40. 3.21	上山小学校	校舎2棟全焼 1,627㎡
"38. 4.22	小 穴	63棟全焼 4,594㎡
"37. 9.15	明治製菓 上山工場	2棟全焼 589㎡
"37. 6.30	矢来一丁目玉糸工場	8棟全焼 744㎡
"37. 4.27	中 山	12棟全半焼 1,150㎡
"35. 1.27	蔵王山元山	4棟全焼 5,082㎡
"34.12.24	上山中学校	校舎3棟全焼 2,575㎡
"34. 4.15	狸 森	7棟全焼 635㎡
"32.12. 6	山五製糸工場	寄宿舎1棟全焼 505㎡
"29. 7. 6	山五製糸工場	工場1棟全焼 759㎡
"28. 1.13	金 谷	中川小学校校舎・体育館全焼
" 7. 6.20	細 谷	51棟
" 6. 5. 6	倉松山中腹	200ヘクタール
大正 3. 9.27	菖 蒲	15棟
明治36. 6.13	十 日 町	11棟
"27. 4. 5	小 倉	14棟 死者1名 重症2名 軽症2名

(2) 風水害

年 月 日	記 録
平成26. 7. 9	豪雨による被害。床上浸水5 床下浸水21 その他の浸水1 河川被害14 道路31等 被害総額 11億1千8百8万5千円。市内前川周辺10地区(約600世帯)に避難勧告発令 避難者数468人となった。
平成25. 7.18	豪雨による被害。床上浸水1 床下浸水3 住宅一部損壊1 河川被害8 道路24等 被害総額1億4千5百14万円。市内6地区(約450世帯)に避難勧告発令 水源汚濁による水道断水(4日間)最大10,549世帯に影響、他市町の給水車の応援を受け対応
"10. 8. 6	梅雨前線による被害。住家床下浸水7 非住家一部破損1 床下浸水2 浸水9 地すべり2等 被害総額2億9千9百33万円
" 元. 8. 6	台風13号による豪雨。総雨量56mm(蔵王山系414mm) 住家床下浸水4棟 病院被害1箇所 田畑被害2.3㍎ 道路欠損23箇所 橋梁1 河川29等 流出損壊被害総額5億7千2百90万円
昭和61. 8. 5	台風10号による豪雨。雨量133mm 床下浸水13 道路決壊54 箇所土砂崩れ6箇所 堤防決壊165箇所 被害総額1億6千4百80万円
"56. 8.23	台風15号による集中豪雨で市内南東地域河川が氾濫した。建物流出及び床上浸水6 田畑冠水29㍎ 道路47 橋梁5 河川5等 流出損壊被害総額5億5千8百万円
"54. 7.29	梅雨前線の猛威により豪雨。床上・床下浸水11 田畑冠水6.5㍎道路33 橋梁4 河川27等流出損壊 被害総額5千6百90万円
"42. 8.28	羽越豪雨による被害甚大。床上浸水215 床下浸水606 田畑・道路・橋梁等が流出決壊 被害総額2億2千6百万円
"41. 7.18	豪雨による被害。床上浸水50 床下浸水140 田畑被害216㍎道路決壊11 橋梁流失14 堤防決壊230m
"34. 9.26	台風15号による被害。全壊家屋18 半壊家屋62 一部破損892 屋根損失9 公共施設全壊1 農作物果樹被害甚大
"33. 9.18	台風21号の余波を受けて豪雨となり南部地帯河川が増水、上山・藤吾・皆沢・須田板方面の堤防決壊。 床上浸水29 床下浸水207 田畑被害54㍎道路決壊流出449m堤防決壊381m橋梁流出8
"31. 7.17	豪雨により市内全域の河川が氾濫し洪水となる。災害救助法発令される。 雨量100mm全壊家屋2 半壊家屋2 床上浸水1,075 床下浸水1,672 橋梁流失23箇所

防 警



《 消 防 施 設 ・ 装 備 》

1 消防本部・署 機械現有

令和7年4月1日現在

区分	車種別	年式	車名	排気量	ポンプ社名規格	購入年月
消防本部	指揮車	2022	トヨタ ハイエース 4WD	2690	—	R 4. 3
	広報1号車	2014	トヨタ エスティマ 4WD	2360	—	H 2 6. 8
	広報2号車	2010	三菱 デリカ 4WD	2350	—	H 2 2. 7
消防署	ポンプ1号車 CD-I型	2012	日野 デュトロ 4WD	4000	モリタ A-2	H 2 4. 9
	ポンプ2号車 水Ⅰ-A型	2013	日野 レンジャー 4WD	6400	モリタ A-2	H 2 5. 1 1
	ポンプ3号車 水Ⅱ型	2018	日野 レンジャー 4WD	5120	モリタ A-2	H 3 0. 1 2
	化学車 Ⅱ型	1995	いすゞ フォワード 4WD	8220	森田ポンプ A-2	H 7. 1 2
	救助工作車 Ⅱ型	2011	日野 レンジャー 4WD	6400	—	H 2 3. 1 0
	資機材運搬車	2012	トヨタ ターゲ 4WD	4000	—	H 2 4. 9
	広報3号車 救急普及啓発広報車	2012	日産 シビリアン 4WD	4470	—	H 2 4. 1 1
	救急1号車	2025	トヨタ ハイエース 4WD	2690	—	R 7. 2
	救急2号車	2020	トヨタ ハイメディック 4WD	2690	—	R 2. 1 2
	救急3号車	2016	トヨタ ハイメディック 4WD	2690	—	H 2 8. 1 1
	軽積載車	1994	ダイハツ ハイゼット 4WD	660	—	H 6. 1 0

2 消防団 機械・施設現有（分団別）

区分	分団別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
普通消防ポンプ自動車		4	2	1	1							
小型動力ポンプ付積載車		8		1		1	1	1	1	2	1	
小型動力ポンプ付軽積載車		18	1	1	2	3	2	1	1	3	1	3
小型動力ポンプ B-2		1								1		
小型動力ポンプ B-3		8	1			1	1	1	1	3		
小型動力ポンプ C-1		16	1			4	2		1	4	1	3
小型動力ポンプ・照明灯付積載車 C-1		1		1								
合 計		56	5	4	3	9	6	3	4	13	3	6
ポンプ庫		56	5	4	3	9	6	3	4	13	3	6
警鐘台		55	3	1	2	12	4	6	3	14	1	9
ホース乾燥併用型 サイレン塔		17	2	3		1	3	2	1	3	1	1

3 消防団 ポンプ等の現有

第1分団（本庁地区）

区分	車両別	年式・車名（社名）	ポンプ型式・級別	購入年月
1	1	二日町 ポ自 2014 トヨタターゲ CD-I型 4WD	モリタ A-2	H 2 6. 1 0
		河崎 軽積 1999 ダイハツハイゼット 4WD		H 1 1. 1 2
		小 2003 シバウラ	B-3	H 1 5. 1 2
2	1	矢来 ポ自 2019 トヨタターゲ CD-I型 4WD	モリタ A-2	R 1. 1 1

3	1	長清水	小	2018 シバウラ	C-1	H 3 0.1 1
4	1	金 生	小	2006 ラビット	B-3	H 1 8.1 0

第2分団（本庁地区）

区 分			車両別	年 式・車 名 (社 名)	ポンプ型式・級別	購入年月
1	1	十日町	積照	1997 三菱キャントー 4WD	C-1	H 9. 2
			小	1997 シバウラ		
2	1	八日町	ボ自	2016 いすゞエルフ CD-I 型 4WD	モリタ A-2	H 2 8.1 2
3	1	湯 町	積	2000 三菱キャントー 4WD	B-3	H 1 2.1 2
			小	2000 シバウラ		
	2	新 湯	軽積	2012 タイハツハゼット 4WD	B-3	H 2 4. 9
			小	2012 トーハツ		

第3分団（本庁地区）

1	1	弁 天	軽積	2018 タイハツハゼット 4WD	B-3	H 3 0.1 1
			小	2018 トーハツ		
2	1	久保手	軽積	1997 タイハツハゼット 4WD	B-3	H 9. 2
			小	2012 トーハツ		
3	1	金 瓶	ボ自	2018 いすゞエルフ CD-I 型 4WD	モリタ A-2	H 3 0.1 1

第4分団（西郷地区）

1	1	高 松	軽積	2000 タイハツハゼット 4WD	B-3	H 1 2.1 2
			小	2000 シバウラ		
2	1	葉 山	小	2013 シバウラ	C-1	H 2 5.1 0
		石曾根	小	2019 シバウラ	C-1	R 1. 9
		川 口	軽積	1997 タイハツハゼット 4WD	B-3	H 9.1 2
			小	2016 シバウラ		
3	1	藤 吾	積	2015 トヨタタッパ 4WD	B-3	H 2 7.1 1
			小	2015 トーハツ		
4	1	阿弥陀地	小	1999 シバウラ	B-3	H 1 1.1 2
		(塩崎)	小	2003 シバウラ	C-1	H 1 5.1 1
5	1	細 谷	小	2015 トーハツ	C-1	H 2 7.1 1
6	1	小 穴	軽積	1997 タイハツハゼット 4WD	B-3	H 9. 2
			小	2014 ラビット		

第5分団（本庄地区）

1	1	関 根	軽積	1998 タイハツハゼット 4WD	B-3	H 1 0. 3
			小	2018 シバウラ		
2	2	相 生	小	2016 シバウラ	C-1	H 2 8.1 2
			小	2021 タイハツハゼット 4WD	B-3	R 3.1 2
	2	皆 沢	小	2021 シバウラ		R 3.1 2
			小	2008 トーハツ	B-3	H 2 0. 9
3	1	檜 下	積	2017 トヨタタッパ 4WD	B-3	H 2 9.1 0
			小	2017 トーハツ		
		赤 山	小	2017 トーハツ	C-1	H 2 9.1 1

第6分団（東地区）

1	1	牧 野	小	2012 トーハツ	B-3	H 2 4. 9
			積	2016 トヨタタッパ 4WD		
	2	須田板	小	2016 シバウラ	B-3	H 2 9. 1
2	1	大 門	軽積	2024 タイハツハゼット 4WD	B-3	R 6. 3
			小	2024 トーハツ		R 6. 3

第7分団（宮生地区）

1	1	宮 脇	軽積	1997 タイハツハゼット 4WD	B-3	H 9.1 2
			小	1995 シバウラ		H 7.1 2
2	2	下生居	小	2013 シバウラ	C-1	H 2 5.1 0
			小	1997 シバウラ	B-3	H 9.1 2
	2	上生居	積	2020 トヨタタッパ 4WD	B-3	R 2.1 0
			小	2020 トーハツ		

第8分団（中川地区）

区 分			車両別	年 式・車 名 (社 名)		ポンプ型式・級別	購入年月
1	1	仙 石	軽積 小	2015	ダイハツハイゼット 4WD	B-3	H 2 7. 1 1
				2014	ラビット		H 2 6. 1 0
		糸 目	小	1996	シバウラ	B-2	H 8. 8
2	1	泉 川	小	2000	シバウラ	B-3	H 1 2. 1 2
3	1	金 谷	軽積 小	1999	ダイハツハイゼット 4WD	B-3	H 1 1. 1 2
				2015	トハツ		H 2 7. 1 1
4	1	甲 石	軽積 小	2014	ダイハツハイゼット 4WD	B-3	H 2 6. 1 0
				2014	ラビット		
		足ノ口	小	2014	ラビット	C-1	H 2 6. 1 0
5	1	高 野	小	2009	シバウラ	B-3	H 2 1. 1 0
6	1	薄 沢	小	1998	シバウラ	C-1	H 1 0. 1 2
7	1	永 野	積 小	2024	トヨタハイラックス 4WD	B-2	R 6. 1 2
				2024	シバウラ		
		蔵 王	小	2003	シバウラ	C-1	H 1 5. 1 1
8	1	権現堂	小	1999	シバウラ	B-3	H 1 1. 1 2
9	1	小 倉	積 小	2013	トヨタダイ 4WD	B-3	H 2 5. 1 0
				2013	シバウラ		
		棚 木	小	2001	ラビット	C-1	H 1 4. 1

第9分団（中山地区）

1	1	中山第一	上町	軽積 小	1998	ダイハツハイゼット 4WD	B-3	H 1 0. 1 2
					2017	トハツ		H 2 9. 1 1
2	1	中山第二	新町	積 小	2010	いすゞエルフ 4WD	B-2	H 2 2. 9
					2010	トハツ		
			揚橋	小	2013	シバウラ	C-1	H 2 5. 1 0

第10分団（山元地区）

1	1	須刈田	軽積 小	2004	スバルサンバー 4WD	B-3	H 1 6. 1 1
				2004	ラビット		
		狸森	小	2019	シバウラ	C-1	R 1. 9
2	1	元屋敷	軽積 小	2015	ダイハツハイゼット 4WD	B-3	H 2 7. 1 1
				2015	トハツ		
		菅	小	2016	シバウラ	C-1	H 2 8. 1 2
3	1	中ノ森	軽積 小	2019	ダイハツハイゼット 4WD	B-3	R 1. 9
				2011	ラビット		H 2 3. 9
		境	小	2018	シバウラ	C-1	H 3 0. 1 1

《 消 防 水 利 》

1 各分団別消防水利数

令和7年4月1日現在

区分 \ 分団			合 計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
消 火 栓	公 設 計		725	132	114	147	83	41	40	34	106	28	
	内 訳	双口	146	50	51	25	4				16		
		単口	579	82	63	122	79	41	40	34	90	28	
	私設単口		6	3							3		
防 火 水 槽	公 設 計		320	37	30	43	49	31	33	22	48	7	20
	内 訳	有蓋	215	36	30	32	25	20	15	8	31	5	13
		無蓋	105	1		11	24	11	18	14	17	2	7
	私 設 計		22	2	3	9	2		1	1	3	1	
	内 訳	有蓋	21	2	3	8	2		1	1	2	1	
		無蓋	1								1		
指 定 水 利			0										
井 戸			0										
合 計			1.073	174	147	199	134	72	74	57	160	36	20

情報管理



《 119 番受信状況 》

1 月別及び回線別 119 番受信件数

(単位：件)

月別 回線別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総受信回数	1,836	157	168	152	126	152	163	171	221	120	134	129	143
一般加入	175	13	14	15	11	13	12	14	16	14	20	17	16
I P 電話	750	64	63	64	60	54	59	63	84	49	67	55	68
携帯電話	911	80	91	73	55	85	92	94	121	57	47	57	59

2 受信種別 119 番受信件数

(単位：件)

合計	火災	救急	救助	その他 災害	問合せ	試験	いたずら	間違い	転送	その他
1,836	12	1,683	23	14	8	14	0	30	2	50

※ 転送とは、当市で 119 番通報受信後に他機関と通報者の回線を接続すること。

《 口頭指導状況 》

1 項目別口頭指導件数

(単位：件)

合計	心肺蘇生法	気道確保	異物除去	止血・被覆	移動・体位管理	その他
226	64	3	3	54	48	54

※ 口頭指導とは、119 番通報の救急要請時に指令室員が、通報者やその関係者、もしくは付近にいる方から救急車が到着するまでに必要な応急処置をしてもらえるように電話で処置内容を指導すること。

2 口頭指導件数に対する応急処置実施件数

指導件数	実施件数	実施率
226	144	64%

《 気 象 》

1 降水量

(単位：mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年 間
月合計	112.5	60.5	107.0	52.5	68.5	49.0	293.5	92.5	202.5	78.5	99.0	154.0	1370.0
日最大	43.0	23.0	20.0	43.0	23.0	15.0	89.0	33.0	48.0	17.0	19.5	26.0	

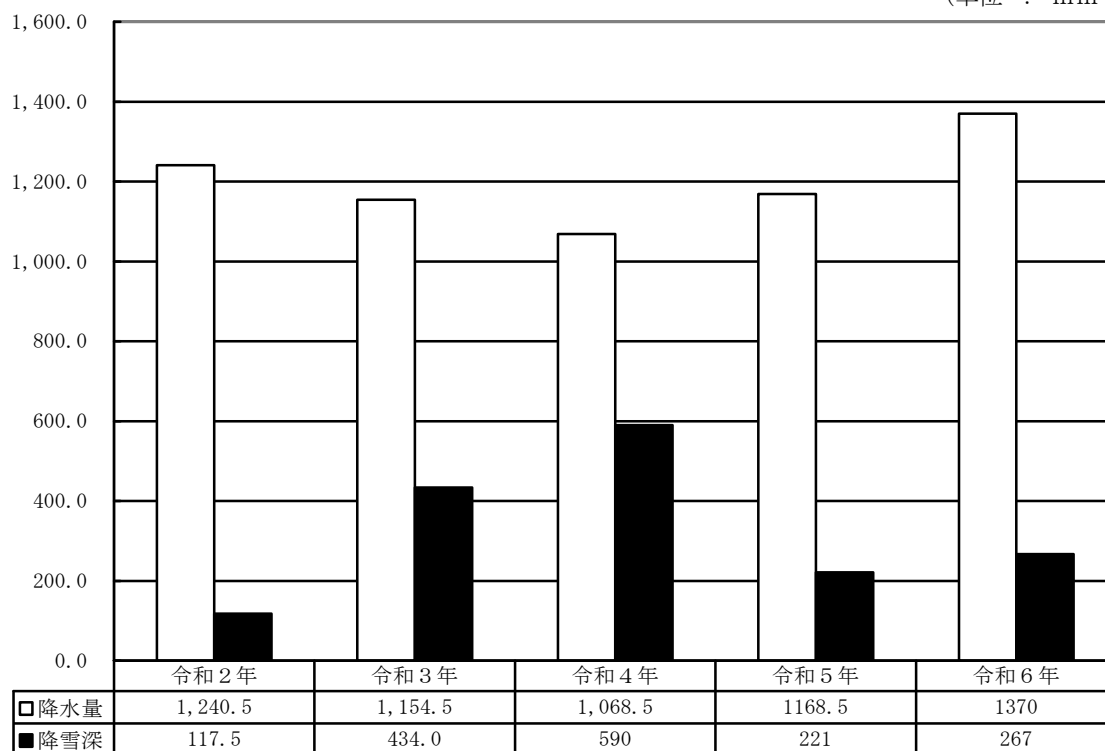
2 降雪深

(単位：cm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年 間
月合計	83.0	71.0	69.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0	267.0
日最大	40.0	25.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	

3 過去5年間の年間降水量・降雪深の比較

(単位：mm・cm)



4 気温

(単位：℃)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
最 高	12.3	7.5	16.9	29.2	31.7	33.6	34.9	36.5	34.1	30.2	23.8	15.9	37.8
最 低	-5.7	-3.5	-4.1	-4.1	3.2	11.8	17.5	20.5	9.6	0.9	-2.7	-6.8	-11.9
平 均	1.6	2.2	3.5	13.7	15.0	22.4	26.4	26.1	22.4	16.2	8.2	1.7	13.2

5 湿度

(単位：%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
相 対	80.3	68.6	74.0	64.3	67.7	68.0	77.0	72.0	82.5	78.5	79.0	83.4	76.3

《 消防応援協定等締結状況 》

協 定 等 の 名 称	締結年月日	協 定 内 容
消防相互応援協定（山形市）	昭 32. 4.25	1 協定市等 上山市、山形市 2 目的 火災、その他の災害に対して相互に 応援する。
消防応援協定（宮城県七ヶ宿町）	昭 35.11.17	1 協定市等 上山市、宮城県七ヶ宿町 2 目的 火災、その他の災害に対して相互に 応援する。
消防相互応援協定（南陽市）	昭 42. 5. 1	1 協定市等 上山市、南陽市 2 目的 火災、その他の災害に対して相互に 応援する。
山形県広域消防相互応援協定	昭 53. 3.10	1 協定市等 山形県内市町村、消防の一部事務組合 2 目的 火災、その他の災害に対して相互に 応援する。
山形県消防広域応援隊に関する覚書	平 7.11.14	1 協定市等 山形県内消防本部 2 目的 大規模もしくは特殊な災害に対して 山形県広域消防相互応援協定に基づ き応援隊を編成する覚書
消防相互応援協定 （宮城県仙南地域広域行政事務組合）	平 8.11.11	1 協定市等 宮城県仙南地域広域行政事務組合、 上山市 2 目的 火災、その他の災害に対して相互に 応援する。
山形県消防防災ヘリコプター 応援協定	平 10. 4. 1	1 協定市等 山形県、山形県内市町村、 消防の一部事務組合 2 目的 災害時に消防防災ヘリコプターの 応援を求める。
救急車退出路の使用に関する覚書	平 14.11. 9	1 協定市等 上山市、 日本道路公団東北支社 山形管理事務所 2 目的 救急車退出路の使用に関する覚書
鉄道災害における消防機関と 鉄道事業者の連携に関する覚書	平 21.10. 1	1 協定市等 山形県内消防本部、山辺町、中山町 2 目的 鉄道災害発生時の消防機関及び鉄道 事業者との連携
上山消防本部放送設備を利用した防 犯情報等の広報に関する覚書	平 28.1.27	1 協定市等 上山警察署 2 目的 防犯情報等を広報することにより、地 域住民等が自ら積極的に防犯対策を 講じることを促し、地域住民等の安 全・安心を確保すること
災害時におけるタイヤ業務の 支援協力に関する協定	平 29.8.25	1 協定市等 有限会社 カーフットショップ後藤、 有限会社 タイヤプロショップ中川 2 目的 大規模な災害が発生した場合又は発

		生のおそれがある場合において、災害応急対策等に対するにタイヤ交換等の支援活動について必要な事項を定めるものとする。
東北中央自動車道 (南陽高島 I C～東根 I C間) における救急業務覚書	平 31.4.13	1 協定市等 上山市、山形市、天童市、東根市、 西村山広域行政事務組合、置賜行政事務組合 日本道路公団東北支社 2 目的 東北中央自動車道(南陽高島 I C～東根 I C間)における救急業務に関する覚書
東北中央自動車道 (南陽高島 I C～東根 I C間) における消防相互応援協定	平 31.4.13	1 協定市等 上山市、山形市、天童市、東根市、 西村山広域行政事務組合、置賜行政事務組合 2 目的 火災、救急又はその他の災害に対して相互に応援する。
災害時における消防活動等の応援 に関する協定	令 2.3.27	1 協定市等 山形県中央生コンクリート共同組合 山形県コンクリート圧送協会 2 目的 災害が発生した場合に、市からの要請に基づき特殊車両で消防揚水の供給活動、高所からの放水等の消防活動を行なうもの。

消 防



《 消 防 隊 等 出 動 状 況 》

(単位 : 回・人)

	令和 6 年		令和 5 年		令和 4 年	
	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員
火 災	12	124	16	205	5	61
救 急 支 援 安 全 管 理	76	236	87	267	59	195
疑 煙	12	38	18	55	24	79
危険物漏洩	6	18	21	63	12	38
市 外 応 援	0	0	1	3	2	14
県広域応援	2	8	0	0	0	0
緊急援助隊	6	30	0	0	0	0
そ の 他	24	112	26	85	51	188
合 計	138	566	169	678	153	575

《 自 主 防 災 組 織 訓 練 指 導 状 況 》

(単位 : 回・人)

	令和 6 年		令和 5 年		令和 4 年	
	訓練回数	訓練人数	訓練回数	訓練人数	訓練回数	訓練人数
総 合 訓 練	20	442	18	428	8	204
情報収集伝達訓練	0	0	0	0	0	0
消火訓練	6	138	3	84	5	119
避難訓練	0	0	0	0	0	0
救出・救護訓練	2	44	1	71	0	0
給食・給水訓練	0	0	0	0	0	0
その他	2	9	1	30	0	0
合 計	30	633	23	613	13	323

- ※ 総合訓練とは、個別訓練の 2 つ以上を含むものをいう。
- ※ その他とは起震車体験、視聴覚研修、防災講話等の訓練をいう。
- ※ 実施数については、自主防災会消防訓練等指導申請書で要請があったものの他市及び消防団主催に参加したものを示す。

救急救助



《 救急事故種別の分類 》

用語、方法及び分類については、総務省消防庁が定める「救急事故等報告要領」を引用しており、言葉の解釈及び運用等で、一般社会通念とは多少異なることもあります。

- (1) 火 災 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- (2) 自然災害事故 暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- (3) 水 難 事 故 水泳中（(6) 運動競技によるものを除く。）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- (4) 交 通 事 故 すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- (5) 労働災害事故 各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
- (6) 運動競技事故 運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故（ただし、観覧中の者が直接に運動競技用具等によって負傷したものは含み、競技場内の混乱によるものは含まない。）をいう。
- (7) 一 般 負 傷 他に分類されない不慮の事故をいう。
- (8) 加 害 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- (9) 自 損 行 為 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- (10) 急 病 疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
- (11) そ の 他 転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの（傷病者不搬送件数のうち、(1) から (10) の救急事故に分類不能のものを含む。）をいう。

《 傷病者の年令区分 》

- (1) 新生児：生後 2 8 日未満の者
- (2) 乳幼児：生後 2 8 日以上満 7 歳未満の者
- (3) 少 年：満 7 歳以上 1 8 歳未満の者
- (4) 成 人：満 1 8 歳以上満 6 5 歳未満の者
- (5) 高齢者：満 6 5 歳以上の者

《 救 急 業 務 実 施 状 況 》

1 出動件数・搬送人員（前年との比較）

出動件数で**83件**の減少、搬送人員でも**87人**減少した。一日平均約**4.6件**の出動となり、市民の**17.5人**に一人が、搬送されたこととなる。

月 別	区 分	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				不 搬 送 件 数
													転院搬送	医師搬送	資器輸送	その他	
令和 6年	出動件数	1,682	4		1	68	16	9	241		13	1,057	272			1	114
	搬送人員	1,576	3		1	62	15	9	228		9	977	272				
令和 5年	出動件数	1,765	2		4	57	21	10	260	5	13	1,137	255		1		104
	搬送人員	1,663	2		2	44	21	10	249	3	9	1070	253				
1月	出動件数	135				2			24		1	84	24				10
	搬送人員	125				2			22		1	76	24				
2月	出動件数	121				6			14		1	81	19				6
	搬送人員	117				6			13		1	78	19				
3月	出動件数	121				9		2	11		2	70	26			1	12
	搬送人員	109				6		2	10		1	64	26				
4月	出動件数	116				4	1	1	20			68	22				7
	搬送人員	109				4	1	1	19			62	22				
5月	出動件数	154	2			14	3		24		3	85	23				14
	搬送人員	143	3			13	3		24		1	76	23				
6月	出動件数	129			1	5	3	2	22		1	67	28				3
	搬送人員	127			1	6	2	2	22		1	65	28				
7月	出動件数	161				5	3		30		1	116	16				5
	搬送人員	157				5	3		19		1	113	16				
8月	出動件数	176	1			3		2	18		2	124	26				14
	搬送人員	162				2		2	16		1	115	26				
9月	出動件数	120				5	3		22		1	72	17				11
	搬送人員	109				4	3		20		1	64	17				
10月	出動件数	147				5	2		19		1	93	27				9
	搬送人員	138				4	2		18		1	86	27				
11月	出動件数	144	1			5	1	2	26			91	18				14
	搬送人員	131				5	1	2	24			81	18				
12月	出動件数	158				5			21			106	26				9
	搬送人員	149				5			21			97	26				

2 事故種別・年齢別搬送状況

急病が全体の**61.9%**を占める。また、**65歳以上**の高齢者が**74.4%**となっている。

	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	構成比
新生児	0	0	0	0	0	0%
乳幼児	22	0	9	1	32	2.0%
少年	12	3	6	11	32	2.0%
成人	189	47	39	65	340	21.6%
高齢者	754	12	174	232	1172	74.4%
小計	977	62	228	309	1,576	100%

3 事故種別・傷病程度別搬送状況

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	0	0	0	1	0	0	2	0	1	27	1	32
重症	0	0	1	8	1	0	47	0	1	96	34	188
中等症	0	0	0	15	6	2	77	0	3	379	219	701
軽症	3	0	0	38	8	7	102	0	4	475	18	655
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	3	0	1	62	15	9	228	0	9	977	272	1,576

4 現場到着までの所要時間別出動件数（覚知から現場到着までの時間）

「平均 9.4 分」（全国平均 10.0 分）

時間 区分	3 分 未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分 以上	合 計	現場到着 平均時間
急 病	1	21	647	352	36	1,057	9.4 分
交通事故	0	1	25	31	11	68	15.3 分
一般負傷	2	6	150	70	13	241	9.5 分
そ の 他	0	43	214	48	11	316	8.3 分
小 計	3	71	1,036	501	71	1,682	9.4 分

5 医療機関収容までの所要時間別搬送人員（覚知から医療機関収容までの時間）

「平均 48.6 分」（全国平均 45.6 分）

時間 区分	10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満		120 分以上	合 計	病院到着 平均時間
急 病	0	0	45	720	209		3	977	50.1 分
交通事故	0	0	2	38	21		1	62	56.5 分
一般負傷	0	1	25	140	62		0	228	50.2 分
そ の 他	0	1	25	266	17		0	309	41.2 分
小 計	0	2	97	1,164	309		4	1,576	48.6 分

6 救急隊員及び救急救命士の行った処置等の実態

- 1 止血：止血帯・包帯による止血処置
- 2 固定：副子等による固定又は安静保持
- 3 人工呼吸：口移し又は器具等による人工呼吸
- 4 心臓マッサージ：胸骨圧迫心臓マッサージ ※自動：自動式心臓マッサージ器によるもの。
- 5 心肺蘇生：心肺蘇生法
- 6 酸素吸入：酸素吸入器による酸素吸入
- 7 気道確保 ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
※3 救急救命士の行う救命処置のうち、リングマスク等を使用しての気道確保
※4 救急救命士の行う救命処置のうち、気管挿管処置を実施しての気道確保
- 8 保温：傷病者の傷病状況から特に体温を保持する必要がある場合に行う保温処置
- 9 被服：創傷をガーゼ等で被覆し、包帯を創面保護
- 10 在宅療法：在宅療法継続中の傷病者に対し行った応急処置
※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの。
※B 気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの。
※C ※A、※B以外の処置が施されているもの。
- 11 ショックパンツによる血圧保持：ショックパンツを使用した処置（骨折肢の固定処置を含む。）
- 12 除細動：救急隊員の行う救命処置のうち、除細動器による除細動処置
- 13 静脈路確保：救急救命士が行う救命処置のうち、薬剤（乳酸リンゲル液）を用いた
静脈路確保のための輸液処置（C P A 前後）
- 14 薬剤投与：救急薬剤（アドレナリン）を用いた処置
- 15 血圧測定：血圧計を使用しての血圧測定
- 16 心音・呼吸音等：聴診器を使用しての心音・呼吸音等の聴取
- 17 血中酸素飽和度の測定：血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
- 18 心電図：心電図の測定
- 19 血糖測定：意識障害者に対する血糖測定
- 20 エピペン投与：アドレナリン製剤投与
- 21 ブドウ糖投与：低血糖病者に対するブドウ糖投与
- 22 その他の応急処置：1 から 21 以外の応急処置

	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
対 象 人 員	1, 5 7 5	9 7 7	6 1	2 2 8	3 0 9
止 血	4 9	5	7	3 2	5
固 定	4 9	1	2 6	2 0	2
人 工 呼 吸	1 1	8	1	2	0
心 臓 マ ッ サ ー ジ	3	2	0	1	0
※うち自動	2	1	0	1	0
心 肺 蘇 生	3 7	2 9	2	4	2
※うち自動	2 8	2 2	1	3	2
酸 素 吸 入	3 6 5	2 3 1	8	2 7	9 9
気 道 確 保	4 4	3 4	2	4	4
※うち1	0	0	0	0	0
※うち2	2	1	0	1	0
※うち3	0	0	0	0	0
※うち4	1	0	0	1	0
保 温	4 3	3 1	2	8	2
被 覆	7 2	6	1 5	4 5	6
在宅療法継続処置	7 4	5 5	2	8	9
※うちA	1	1	0	0	0
※うちB	7	5	0	1	1
※うちC	6 6	4 9	2	7	8
シ ョ ッ ク パ ン ツ	0	0	0	0	0
除 細 動	4	3	0	0	1
静 脈 路 確 保	8 3	6 8	2	1 1	2
うちC P A前	5 6	4 7	1	7	1
うちC P A後	2 7	2 1	1	4	1
薬 剤 投 与	2 1	1 7	1	3	0
血 圧 測 定	1, 5 3 0	9 4 4	5 8	2 2 2	3 0 6
心 音 ・ 呼 吸 音 聴 取	4 5 8	3 3 7	2 4	2 5	7 2
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	1, 5 3 7	9 4 9	5 8	2 2 4	3 0 6
心 電 図	1, 3 8 8	9 2 0	4 0	1 5 2	2 7 6
血 糖 測 定	7 5	6 8	1	5	1
エ ピ ペ ン 投 与	0	0	0	0	0
ブ ド ウ 糖 投 与	8	8	0	0	0
そ の 他 の 処 置	1, 5 5 4	9 6 9	6 0	2 2 1	3 0 4
合 計	7, 4 9 5	4, 7 6 0	3 1 1	1, 0 2 5	1, 3 9 9
令 和 5 年	8, 0 0 3	5, 3 0 1	2 1 8	1, 0 8 0	1, 4 0 4

7 心肺停止傷病者に対する特定行為実施結果

	令 和 6 年	令 和 5 年
出 動 件 数	1, 6 8 2	1, 7 6 5
搬 送 人 員	1, 5 7 6	1, 6 6 3
救 急 救 命 士 搭 乗 件 数	6 8	8 3
心 肺 停 止 傷 病 者 数	6 8	8 4
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員	4 0	5 0
心 拍 再 開	1 0	1 2
社 会 復 帰	1	0
市 民 処 置	3 2	2 5

※ 令和3年10月1日から指示医療機関は「みゆき会病院」となっている。

8 過去10年間の出動件数及び搬送人員等

区 分	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
出動件数	1,682	1,765	1,676	1,410	1,364	1,628	1,745	1,655	1,608	1,451
搬送人員	1,576	1,663	1,586	1,349	1,315	1,582	1,679	1,595	1,558	1,389
高齢者搬送人員	1,172	1,210	1,131	985	978	1,161	1,183	1,137	1,059	930
総人口	27,584	28,084	28,584	29,092	29,375	30,015	30,457	30,889	31,382	31,834
高齢者人口	11,252	11,293	11,359	11,465	11,501	11,449	11,128	11,312	11,201	11,120

9 応急手当普及啓発活動の経過

区 分	基礎救命	救命入門	普通救命	上級救命	普及員	指導員	再講習	合 計
令和6年		886	156	5	0	2	38	1,087
令和5年		1,036	41	6	0	2	35	1,120
令和4年		942	16	18	0	4	33	1,013
令和3年		685	47	48	0	3	0	783
令和2年		909	22	1	2	2	15	951
令和元年		1,341	68	4	0	3	77	1,493
平成30年		1,471	114	16	0	3	33	1,637
平成29年		1,524	108	0	3	3	59	1,697
平成28年	868	721	82	1	1	5	28	1,701
平成27年	1,201	838	180	13		6	52	2,290
平成26年	756	992	175	29	1	1	16	1,970
平成25年	972	476	197	17	23	2		1,687
平成24年	1,397	491	255	17	1		26	2,187
平成23年	1,606		122	25	1	5		1,759
平成22年	1,671		143	13			23	1,850
平成21年	1,426		169	19			12	1,626
平成20年	1,786		322	7			20	2,135

本活動の実施要綱は、平成7年に制定し、翌年1月1日に施行した。

平成24年9月から応急手当普及啓発活動実施要綱の変更に伴い、講習内容を変更した。

10 着衣泳普及啓発活動

全国的に水の事故は1年を通して発生しており、その約8割は衣服を着た状態です。

「着衣泳」とは着衣状態で水に浮いたり、移動したりする動作を指し、水の事故から身を守ることを目的とします。



【背浮き】

講習会実施状況 ※過去10年間分

区 分	園児講習会 (園児・保護者)	小学生講習会 (児 童)	中高生講習会 (生 徒)	一般講習会 (市 民)	その他	合 計
令和6年		45				45
令和5年		190				190
令和4年		143	25			168
令和3年						0
令和2年						0
令和元年	30	227	196			453
平成30年	30	282	137			449
平成29年		296				296
平成28年	55	348				403
平成27年		208				208
合 計	115	1739	358	0	0	2212

平成18年度から「命を守る着衣泳」として普及啓発活動を展開しております。
令和2、3年は新型コロナウイルス感染防止のため未実施となります。

《 救助事故種別の分類 》

総務省消防庁が定める「救急事故等報告要領」を引用する

- (1) 火 災 火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
- (2) 交 通 事 故 すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- (3) 水 難 事 故 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- (4) 自然災害事故 暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- (5) 機械による事故 エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
- (6) 建物等による事故 建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
- (7) ガス及び酸欠事故 一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
- (8) 破 裂 事 故 火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
- (9) そ の 他 の 事 故 (1) から (8) に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。なお、出動したが誤報・いたずらであった場合は、これに含める。

《 救助業務実施状況 》

事故種別救助出動・活動件数及び救出人員

主な活動件数は、交通事故、建物事故による救助出動である。

区 分		出動件数		活動件数		救出人員	
		令和 5 年	令和 6 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 5 年	令和 6 年
火災	建 物	4		4		1	
	建物以外	1		1		1	
交 通 事 故		1 3	1 1	3	5	3	7
水 難 事 故		3		4		4	
自 然 災 害							
機械による事故							
建物等による事故		2	4	2	4	2	3
ガス及び酸欠事故		1		1		2	
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故		6	8	3	2	3	2
合 計		3 0	2 3	1 8	1 1	1 6	1 2

本業務は、昭和 6 3 年から開始した。

消 防 団



《 上山市消防団の沿革 》

昭和 27. 5.	団長 高橋熊次郎氏 藍綬褒章を授与
28. 3.	優良消防団として県知事より表彰旗授与
29. 10.	町村合併促進法に基づき 1 町 5 か村合併 本庁を 1 分団として 6 ケ分団編成 部数 4 5 部 団員数 1, 1 7 5 人
11.	団長 高橋熊次郎氏 市長に就任
30. 3. 7	日本消防協会より優良消防団として表彰旗授与
31. 3. 7.	国家消防本部より優良消防団として表彰旗授与 第 7 回山形県消防大会開催
11.	本沢村大字久保手地区合併 第 3 分団
32. 1.	赤湯町大字中山地区合併 第 7 分団
3.	山元村合併 同地区 第 8 分団 蔵王村金瓶地区合併 第 1 分団に編入 市消防団 8 ケ分団 6 2 部 1, 5 1 0 人
11. 13	団長 高橋熊次郎氏死去
17	山形県消防協会葬 後任団長に副団長小林幸雄氏就任
37. 3. 15	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庁南部）
39. 4.	消防団編成 完結発足 1 7 ケ分団 4 3 部 9 3 班 1, 3 6 6 人
40. 3. 15	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庄南東）
43. 3. 20	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庁中央）
47. 3. 10	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庁北部）
9.	消防ポンプ自動車を配備（日産 パトローラー二日町）
48. 3. 9	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（東 西北）
4.	条例改正 定員 1, 0 9 3 人
49. 4.	実員 1, 2 2 9 人
5.	上山市消防親和会発足（初代会長 木村 清男氏就任 会員 4 1 人）
10.	消防ポンプ自動車を配備（日産 パトローラー裏町）
11.	元副団長 岡村利三郎氏 勲六等単光旭日章受章 小型動力ポンプ付積載車を配備（トヨタ ランドクルーザー甲石）
50. 4.	実員 1, 1 8 7 人
9.	消防ポンプ自動車を配備（日産 パトローラー金瓶） 小型動力ポンプ付積載車を配備（日産 パトローラー山元）
10.	消防ポンプ自動車を配備（トヨタ ランドクルーザー新丁）
51. 3. 23	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（山元 西）
4.	消防団編成 完結発足 1 1 分団 5 2 部 1 1 1 班 1, 0 9 3 人
52. 7.	消防ポンプ自動車を配備（トヨタ ランドクルーザー矢来） 小型動力ポンプ付積載車を配備（日産 パトローラー須田板）
53. 3. 24	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（西郷）

昭和 53. 7.		小型動力ポンプ付積載車を配備（日産 パトローラー 檜下）
54. 2. 7.	10	日本消防協会より優良消防団として竿頭授与 小型動力ポンプ付積載車を配備（日産 パトローラー 上生居）
55. 3. 8. 10.	14 5	山形県知事より表彰旗授与 県消防協会より優良消防団として竿頭授与（中川東部） 小型動力ポンプ付積載車を配備（トヨタ ランドクルーザー 永野） 昭和 55 年度山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝 消防庁長官優勝旗授与（ポンプ車の部 金瓶）
56. 6. 7.		ラッパ隊編成（13 人） 照明灯付積載車を配備（日産 クリッパー 十日町）
57. 3. 4. 10.	23	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（宮生） 編成替 10ヶ分団 52部 109班 1,093人 小型動力ポンプ付積載車を配備（日産 サファリー 湯町）
58. 4.		部旗作成貸与 52部 編成替 10ヶ分団 52部 109班 1,033人
59. 3. 4.	22	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（中山） 編成替 10ヶ分団 52部 108班 1,013人
60. 4. 9. 11.		編成替 10ヶ分団 51部 78班 952人 小型動力ポンプ付積載車を配備（日産 サファリー 中山） 元本庄村消防団長 小玉勘次郎氏 勲六等瑞宝章受章
61. 3. 8.	24	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庄） 小型動力ポンプ付積載車を配備（いすゞ エルファー 藤吾）
62. 6. 10.		分団長以上に消防無線用受令機貸与 小型動力ポンプ付積載車を配備（日産 サファリー 新湯）
63. 3. 4. 9.	24	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庁南部） 上山市消防団出動基準改正 小型動力ポンプ付積載車を配備（日産 サファリー 小倉）
平成元. 1.		日本消防協会よりラッパ隊制服及び楽器、消火器等寄贈 消防庁長官優勝旗授与（ポンプ車の部 新丁）
2. 3. 4. 6. 10. 12.	23 1	日本消防協会より優良消防団として表彰旗授与 県消防協会より優良消防団として竿頭授与（東） 上山市消防団条例一部改正（報酬・手当等） 副分団長に消防無線受令機貸与 小型動力ポンプ付積載車の更新（三菱 キャンター 4WD 甲石） 元副団長 河合喜兵衛氏 勲七等青色桐葉章受章 消防ポンプ自動車の更新（三菱 キャンター 4WD 二日町）
3. 8. 9. 10.		コミュニティ消防センター新築（十日町） 小型動力ポンプ付積載車の更新（三菱 キャンター 4WD 山元） 消防ポンプ自動車の更新（三菱 キャンター 4WD 裏町）

平成 4.	3.	23	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庁中部）
4.	1		上山市消防団条例一部改正（報酬・手当等）
12.			消防ポンプ自動車の更新（いすゞ エルフ 4WD－新丁） 小型動力ポンプ付積載車の更新（三菱 キャンター 4WD－須田板）
5.	2.	16	日本消防協会より優良消防団として竿頭授与
4.	1		団長 酒井 吉亮氏 山形県消防協会東南村山支部長就任 元団長 木村 清男氏 勲五等双光旭日章受章
7.			小型動力ポンプ付積載車の更新（三菱 キャンター 4WD－櫛下）
9.			消防ポンプ自動車の更新（いすゞ エルフ 4WD－金瓶）
		30	コミュニティ消防センター新築（八日町）
11.	24		県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庁北部） 県消防協会より自治体消防 45 周年記念特別表彰として竿頭授与
6.	6.	1	上山市消防団条例一部改正（報酬・手当等）
8.			小型動力ポンプ付積載車の更新（三菱 キャンター 4WD－上生居）
		21	市制 40 周年記念事業 消防操法大会実施（優勝 ポンプ車の部 二日町） （ 〃 小型ポンプの部 赤坂）
9.	30		コミュニティ消防センター新築（新丁）
10.			消防ポンプ自動車の更新（いすゞ エルフ 4WD－矢来） 小型動力ポンプ軽積載車の導入（ダイハツ ハイゼット 4WD－三上）
7.	1.		市制 40 周年記念事業 消防団旗更新
4.			条例改正 定員 791 人 実員 877 人（平成 9 年度完結） 編成替 10ヶ分団 50部 69班 予備消防団員制度発足 定員 200 人 実員 81 人
11.	9		団長 酒井 吉亮氏 自治大臣表彰（消防功労章）受章
	24		県消防協会より優良消防団として竿頭授与（山元）
12.			小型動力ポンプ付積載車の更新（三菱 キャンター 4WD－永野）
8.	1.		小型動力ポンプ軽積載車の配備（ダイハツ ハイゼット 4WD－大門・中ノ森）
6.	1		上山市消防団条例一部改正（報酬・手当等）
8.	8		日本消防協会より運搬車寄贈（日産 アトラス）
10.	16		第 15 回全国消防操法大会に山形県代表として出場（小型ポンプの部 6 位入賞）
9.	2.		小型動力ポンプ軽積載車の配備（ダイハツ ハイゼット 4WD－小穴・久保手） 小型動力ポンプ・照明灯付積載車の更新（三菱 キャンター 4WD－十日町）
3.	31		団長 酒井 吉亮氏 山形県消防協会東南村山支部長勇退
7.	31		法被更新完了（平成 7 年度から）
10.	30		コミュニティ消防センター新築（甲石）
11.	26		県消防協会より優良消防団として竿頭授与（西郷）
12.	15		小型動力ポンプ軽積載車の配備（ダイハツ ハイゼット 4WD－川口、宮脇） 小型動力ポンプの更新（櫛下、中生居、狸森）

平成 10. 3. 20	小型動力ポンプ軽積載車の配備（ダイハツ ハイゼット 4WD－関根）
10. 1	元団長酒井吉亮氏 本市表彰条例による表彰受賞
12. 25	小型動力ポンプの更新（原口、薄沢、田形）
	小型動力ポンプ軽積載車の配備（ダイハツ ハイゼット 4WD－中山上町）
11. 7. 18	上山市消防操法審査会 第 20 回記念大会
11. 24	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（中川）
12. 24	小型動力ポンプ軽積載車の配備（ダイハツ ハイゼット 4WD－石崎・河崎、石曾根）
	小型動力ポンプの更新（阿弥陀地、大門、権現堂）
	消防無線受令機更新 3 台、新規配備 6 台（車両部長）
	コミュニティ消防センター新築（須田板）
12. 2. 15	消防団員等公務災害補償等共済基金からの助成で、冬山遭難捜索用防寒具配備
3. 29	矢来公衆便所を消防団（矢来）に所管替え
4. 29	元団長 酒井吉亮氏 勲五等双光旭日章受章
5.	消防無線受令機更新 1 台、新規配備 2 台（車両部長）
8. 20	山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（ポンプ車の部 二日町）
	山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（小型ポンプの部 原口）
9. 3	長沼昌弘団員殉職（皆沢）
12. 15	コミュニティ消防センター移設（十日町）
20	小型動力ポンプ付積載車の更新（三菱キャンター 4WD－湯町）
	〃 付軽積載車の配備（ダイハツ ハイゼット 4WD－高松）
	〃 の更新（泉川・中山糺町）
13. 4. 12	故長沼昌弘氏 慰霊式（体育文化センター）※徳田正明 日本消防協会会長臨席
7. 17	消防無線受令機更新 1 台、新規配備 2 台（車両部長）
8. 1	防災資機材地域備蓄施設（金生ポンプ庫）新設
25	山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（ポンプ車の部 矢来）
10. 31	有蓋防火水槽新設（金生 5）
11. 12	ホース乾燥柱設置（久保川）
21	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（宮生）
14. 2. 3	小型動力ポンプの更新（棚木）
3. 31	有蓋防火水槽新設（松山一丁目）
6. 13	消防無線受令機更新 1 台、新規配備 2 台
8. 25	山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（ポンプ車の部 裏町）
	〃 （小型ポンプの部 中山）
10.	日本消防協会から消防団員健康増進事業により、テント 2 張りの交付を受ける
15. 10.	ふるさと消防団活性化助成事業により、蘇生訓練人形・煙体験ハウス・スモークマシーン整備
11. 11	県消防協会より優良消防団として竿頭授与（中山）
12. 17	小型動力ポンプの更新 4 台
	（B 3 級－石崎河崎、C 1 級－阿弥陀地塩崎、蔵王、境）

平成 15. 12.	22	消防無線受令機更新 1 台、新規配備 2 台
16. 4.		日本防火協会助成事業により、A E D 付成人用心肺蘇生訓練マネキン・小児用心肺蘇生訓練マネキン整備
7. 18		市制施行 5 0 周年記念市長杯争奪分団対抗消防操法大会
8. 29		山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（ポンプ車の部 金瓶）
11. 30		小型動力ポンプ付軽積載車の配備（スバル サンバー 4 W D－須刈田） 〃 の更新（須刈田）
17. 7.	23	消防無線受令機更新 2 台
11. 25		県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庄）
18. 7. 16・23		消防操法指導会開催
9. 28		日本消防協会から「消防団員福祉共済制度福祉増進事業」により、健康器具等 5 品の交付を受ける
11. 5		小型動力ポンプの更新（B 3 級－金生、C 1 級－小笹久保川、永野上ノ原）
19. 3.	1	出動指令を E メール併用
4. 29		団長 笠原正義氏 藍綬褒章を授与
8. 26		山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（小型ポンプの部 下生居）
11. 19		県消防協会より優良消防団として竿頭授与（本庁南部）
20. 4.	1	編成替 1 0 ヶ分団 5 0 部 5 3 班 特定消防団員及び指導員制度の導入 消防署ポンプ車を藤吾に移管 石曽根に配備の軽積載車を、弁天（北部コミュニティ防災センター）に、北町に配備の小型動力ポンプを石曽根に配備替し、北町ポンプ庫を廃止 上山市消防団協力事業所表示制度実施要綱の制定し、年度内に 3 件交付
10. 9		小型動力ポンプの更新（B 3 級－皆沢）
16		自治体消防制度 6 0 周年記念「がんばれ消防山形県大会」に参加
12. 19		有蓋防火水槽新設（弁天一丁目）
21. 4.		消防団員活動服更新
11. 6		小型動力ポンプの更新（B 3 級－金谷、高野）
16		県消防協会より優良消防団として竿頭授与（東）
20		有蓋防火水槽新設（金生東、早坂）
22. 2. 10		日本消防協会より「特別表彰 まとい」受章
17		第 9 回消防団幹部候補中央特別研修 1 名参加（1 7 ～ 1 9 日）
3.		ヘルメット 3 9 0 個更新貸与
4. 23		山形県消防協会東南村山支部第 1 回評議員会開催
8. 29		山形県消防協会東南村山支部消防操法大会開催
10. 1		消防団救助資機材搭載型車両を中山に配備
23. 7. 29		関根ポンプ庫新築
9. 10		小型動力ポンプの更新（B 3 級－中ノ森）
11. 13		消防団員安全管理セミナー開催

平成 24.	2.	12	消防団員安全装備品整備等助成事業により非常用照明器具一式購入 分団集結拠点 7 箇所に配備
	3.	15	仙石ポンプ庫新築
	6.	13	雨衣貸与（全団員）
	7.	13	平成 23 年度消防団安全対策設備整備補助事業による消防団用デジタル簡易無線 貸与
	9.	8	小型動力ポンプ付軽積載車へ更新（ダイハツ ハイゼット 4WD－新湯） 小型動力ポンプの更新（B 3 級－久保手・牧野）
		18	コミュニティ助成事業により背負式水のう 40 式整備
25.	6.	27	耐震性有蓋貯水槽新設（三本松）
	8.	25	山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（小型ポンプの部 小笹・久保川）
	9.	30	防火衣貸与（87 着 2 箇年計画）
	10.	16	下生居ポンプ庫新築
	11.	4	小型動力ポンプ付積載車更新（トヨタ ダイナ 4WD－小倉） 小型動力ポンプの更新（C 1 級－葉山、菖蒲、下生居、中山第 2）
26.	8.	24	山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（小型ポンプの部 中生居）
	9.	30	防火衣貸与（82 着 2 箇年計画）
	10.	16	消防ポンプ自動車更新（トヨタ ダイナ 4WD－二日町） 小型動力ポンプ付軽積載車更新（ダイハツ ハイゼット 4WD－甲石） 小型動力ポンプ更新（B－3 級－小穴、仙石） 小型動力ポンプ更新（C－1 級－足ノ口）
		19	市制施行 60 周年記念消防団フェスティバル（市民公園集合広場）
	12.	10	中山新町ポンプ庫新築
27.	4.	29	元団長 笠原正義氏 瑞宝双光章受章
	8.	23	山形県消防協会東南村山支部消防操法大会優勝（自動車の部 藤吾）
	10.	13	川口ポンプ庫新築解体
	11.	3	元分団長 中村伸一氏 瑞宝単光章受章
		4	小型動力ポンプ付積載車更新（トヨタ ダイナ 4WD－藤吾） 小型動力ポンプ付軽積載車更新（ダイハツ ハイゼット 4WD－元屋敷） 軽積載車更新（ダイハツ ハイゼット 4WD－仙石） 小型動力ポンプ更新（B－3 級－弁天） 小型動力ポンプ更新（C－1 級－細谷、柏木）
28.	9.	1	訓練用半長靴貸与（422 足 2 箇年計画）
	12.	16	久保手ポンプ庫新築 小型動力ポンプ付積載車更新（トヨタ ダイナ 4WD－須田板） 消防ポンプ自動車更新（いすゞ エルフ 4WD－裏町） 小型動力ポンプ更新（B－3 級－川口）
	12.	19	小型動力ポンプ更新（C－1 級－相生・菅）
	12.	26	消防団拠点施設新築（櫓下） 耐震性貯水槽新設（川口 2 基）

平成 29. 9.	1	訓練用半長靴貸与（3 6 9 足 2 箇年計画）
10.	30	耐震性有蓋貯水槽新設（金谷） 小型動力ポンプ付積載車更新（トヨタ ダイナ 4WD－檜下）
11.	3	元副団長 小玉茂氏 瑞宝単光章受章
	15	小型動力ポンプ更新（B－Ⅲ級－中山上町） 小型動力ポンプ更新（C－Ⅰ級－赤山） 足ノロポンプ庫新築 ホース乾燥併用型サイレン塔新設（足ノロ）
12.	22	元屋敷ポンプ庫新築 耐震性有蓋貯水槽新設（檜下・御井戸丁）
30. 7.	20	泉川ポンプ庫新築
11.	26	小型ポンプ付軽積載車（ダイハツ ハイゼット 新丁） 小型動力ポンプ更新（B－3 級 関根） 小型動力ポンプ更新（C－1 級 長清水 入丸森） 消防ポンプ自動車（CD－1 金瓶）
12.	4	耐震性有蓋貯水槽新設（久保手）
	14	耐震性有蓋貯水槽新設（金瓶）
31. 4.	1	団長 菅沼 誠司氏 山形県消防協会東南村山支部長就任
	29	元分団長 小松英朗氏 瑞宝単光章受章
令和元. 9.	25	消防団員用防寒衣貸与（7 5 5 着） 小型動力ポンプ更新（C－1 級 石曾根 前丸森）
9.	27	軽積載車更新（ダイハツ ハイゼット 中ノ森）
	29	第 2 回消防団フェスティバル開催
11.	3	元分団長 大風正明氏 瑞宝単光章受章
11.	27	消防ポンプ自動車（CD－1 矢来）
12.	27	牧野ポンプ庫新築
2. 1.	24	耐震性有蓋貯水槽新設（権現堂）
2.	14	消防団拠点施設新築（湯町）
2.	25	耐震性有蓋貯水槽新設（金瓶）
	26	ホース乾燥併用型サイレン塔新設（湯町 牧野 中山新町）
3.	9	耐震性有蓋貯水槽新設（原口）
	11	耐震性有蓋貯水槽新設（細谷）
7.	3	耐震性有蓋貯水槽新設（金瓶）
10.	31	小型動力ポンプ付積載車（B－3 級 上生居）
11.	12	耐震性有蓋貯水槽新設（檜下）
	25	耐震性有蓋貯水槽新設（皆沢）
3. 3.	19	耐震性有蓋貯水槽新設（仙石）
4.	29	元分団長 八田博之氏 瑞宝単光章受章
4. 1.	24	小型動力ポンプ付軽積載車（ダイハツ ハイゼット 三上）
12.	21	有蓋貯水槽新設（阿弥陀地、牧野）

令和 5. 4. 1	上山市消防団条例一部改正（管轄区域、条例定数、報酬等） 女性消防部発足 機能別消防団員廃止
10. 2	耐震性有蓋貯水槽新設（高野）
10. 12	有蓋貯水槽新設（皆沢）
11. 20	耐震性有蓋貯水槽新設（松山）
6. 3. 28	小型動力ポンプ付軽積載車（ダイハツ ハイゼット 大門）
11. 20	耐震性有蓋貯水槽新設（皆沢）
12. 1	小型動力ポンプ軽積載車（トヨタ ハイラックス 永野）
12. 10	有蓋貯水槽新設（藤吾 高野）

《 歴代団長等 》				
1 団長				
歴代	氏 名	就 任 月 日	退 任 月 日	備 考
初代	高 橋 熊次郎	昭 2 9. 1 0. 1	昭 3 2. 2. 2 8	
2代	小 林 幸 雄	昭 3 2. 1 1. 2 8	昭 3 4. 5. 1 0	
3代	斎 藤 又兵衛	昭 3 4. 6. 2	昭 3 6. 1 2. 2 5	
4代	奥 村 良太郎	昭 3 6. 1 2. 2 5	昭 4 0. 9. 2 4	
5代	木 村 清 男	昭 4 0. 9. 2 5	昭 5 5. 3. 3 1	
6代	酒 井 吉 亮	昭 5 5. 4. 1	平 1 0. 3. 3 1	
7代	笠 原 正 義	平 1 0. 4. 1	平 2 2. 3. 3 1	
8代	佐 藤 了	平 2 2. 4. 1	平 2 4. 3. 3 1	
9代	菅 沼 誠 司	平 2 4. 4. 1	令 5. 3. 3 1	
10代	高 橋 秀 司	令 5. 4. 1	現 在	
2 副団長				
歴代	氏 名	就 任 月 日	退 任 月 日	備 考
	岡 村 利三郎	昭 2 9. 1 0. 1	昭 3 2. 1 1. 3 0	
	小 林 幸 雄	昭 2 9. 1 0. 1	昭 3 2. 1 1. 2 7	
	斎 藤 綸之助	昭 3 2. 1 2. 8	昭 3 3. 3. 1 7	
	堺 主 殿	昭 3 3. 3. 1 7	昭 3 6. 1. 4	
	内 野 衛 爾	昭 3 3. 3. 1 7	昭 3 8. 3. 3 1	
	中 村 謙 吉	昭 3 6. 1. 4	昭 4 0. 1. 3	
	木 村 清 男	昭 4 0. 1. 1 2	昭 4 0. 9. 2 4	
	佐 藤 八 平	昭 4 0. 1. 2 7	昭 4 3. 5. 1 1	
	河 合 喜兵衛	昭 4 0. 1 2. 1 4	昭 4 3. 3. 3 1	
	酒 井 吉 亮	昭 4 3. 4. 1	昭 5 5. 3. 3 1	
	大 沢 昭 七	昭 4 3. 5. 1 2	昭 5 5. 3. 3 1	
	菅 沼 博 昭	昭 5 5. 4. 1	昭 6 1. 3. 3 1	

	尾 森 弘 真	昭55. 4. 1	昭62. 3. 31	
	笠 原 正 義	昭61. 4. 1	平10. 3. 31	
	小 玉 茂	昭62. 4. 1	平10. 3. 31	
	遠 藤 松 宏	平10. 4. 1	平11. 10. 18	
	佐 藤 了	平10. 4. 1	平22. 3. 31	
	山 川 秀 男	平11. 11. 1	平22. 3. 31	
	菅 沼 誠 司	平11. 11. 1	平22. 3. 31	
	土 屋 博 幸	平22. 4. 1	現 在	
	高 橋 秀 司	平24. 4. 1	令 5. 3. 31	
	齋 藤 徹	令 5. 4. 1	現 在	

《 消 防 団 組 織 等 》

1 組 織

(R7. 4. 1現在)

管轄地区		全 市			本庁 南部	本庁 中部	本庁 北部	西郷	本庄	東	宮生	中川	中山	山元
分団 階級	計	本 部	ラ ッ パ 隊	女 性 消 防 部	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
団 長	1	1												
副 団 長	2	2												
分 団 長	12	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
副分団長	10	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
部 長	53	8	6	2	4	3	3	6	3	2	2	9	2	3
班 長	44	0	1	0	4	4	3	6	5	3	4	9	2	3
団 員	380 ※2	0	0	4	57	43	22	43	39	29 ※1	21	77	20 ※1	25
実 員	502	12	8	6	67	52	30	57	49	36	29	97	26	33
定 員	603	15	15	20	82	49	42	73	54	38	40	103	32	40
差	-101	-3	-7	-14	-14	3	-12	-16	-5	-2	-11	-6	-6	-7
予備消防団員	58				2	6	3	11	15	10	10	0	0	0

※の人員はラッパ隊員兼務者

2 過去5年間の比較

分団 年度	計	本部	ラバ ン	女性 消防部	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
令和6年度	536	13	8 ①	7	71	53	32	67	50	35	33	103	28	36
令和5年度	551 ⑧	10	8 ①	7	73	51	34	73	54	32	39	103	31	36
令和4年度	634 ⑨	19 ⑧	8 ①		80	57	36	89	71	40	43	121	32	38
令和3年度	652 ⑨	19 ⑧	9 ①		84	58	36	88	73	41	47	122	35	40
令和2年度	705 ⑧	17 ⑥	9 ①		85	63 ①	42	91	77	45	48	142	36	50

○の人員は女性団員

3 階級別平均年令

(R7.4.1現在)

区分	総 数		団 長		副団長		分団長		副分団長		部 長		班 長		団 員		予備団員	
人員	502		1		2		12		10		53		44		380		58	
年令	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高	低	高
幅	19	72	61	61	47	54	34	58	38	52	30	63	24	60	18	73	33	71
平均 年令	39.9 男:39.8 女:52.8		61.0		50.5		43.9		44.0		41.9		36.9		41.6		48.8	

4 報 酬

(R7.4.1現在)

階 級	報 酬 年 額	階 級	報 酬 年 額
団 長	127,000 円	部 長	39,000 円
副 団 長	96,000 円	班 長	38,000 円
分 団 長	50,000 円	団 員	36,500 円
副 分 団 長	45,000 円	予 備 団 員	5,000 円

出 動 報 酬	報 酬 額	摘 要
災害	2時間まで 2,000円 2時間を超え4時間まで 4,000円 4時間を超え8時間まで 8,000円	災害業務に従事した者
災害以外	1回につき2,000円	1日以上にわたるときは、1日を単位とする。

5 手 当

(R 7. 4. 1 現在)

件	名	手 当 額
ポンプ管理手当 (年額)	自動車ポンプ等 / 台	22,000 円
	その他のポンプ / 台	14,000 円
団運営負担金		150,000 円
消防施設維持管理交付金 (年額)	ポンプ庫・警鐘台等 / 班	10,000 円
	消防水利 / 班	5,000 円

6 消防団協力事業所表示証交付先

(上山市交付)

(R 7. 4. 1 現在)

交付番号	事業所名	初回表示年月日	現表示有効期間	更新回数
1	二本松会上山病院	平成20年 8月 7日	令和8年 8月	8 回
2	西庄建設株式会社	平成20年12月 3日	令和8年 2月	8 回
4	株式会社 片桐製作所	平成21年 7月14日	令和8年 2月	8 回
5	株式会社 カネト製作所	平成22年 7月 1日	令和9年 3月	8 回
8	有限会社 田島製作所	平成25年 8月 1日	令和7年 8月	5 回
9	高松精機株式会社	平成25年 8月 1日	令和7年 8月	5 回
12	東和薬品株式会社 山形工場	平成27年 3月 1日	令和8年 3月	4 回
13	有限会社 山川造園土木	平成29年 2月24日	令和9年 2月	4 回
14	株式会社 ユニカ技研	平成29年 2月24日	令和9年 2月	4 回
15	株式会社エコリレーション (元北方清掃)	平成29年 2月24日	令和9年 2月	4 回
17	堀川土建 株式会社	平成29年11月14日	令和7年11月	3 回
18	羽陽建設株式会社	令和 2年10月 1日	令和8年10月	2 回
19	吉田工業株式会社	令和 7年 4月 1日	令和9年 4月	0 回

(総務省消防庁交付)

交付番号	事業所名	初回表示年月日	現表示有効期間	更新回数
1	株式会社 片桐製作所	平成22年 2月	令和8年 4月	8 回
2	株式会社 カネト製作所	平成23年 2月	令和9年 3月	7 回

上山市民憲章

昭和三十九年十月一日制定

一 みんな健康でよくはたらき

ゆたかなまち上山をつくりましょう

一 みんなきまりをよく守り

住みよいまち上山をつくりましょう

一 みんな互いにたすけあい

しあわせのまち上山をつくりましょう

一 みんな教養を身につけ

平和のまち上山をつくりましょう

一 みんな環境をととのえ

美しいまち上山をつくりましょう

上山市消防歌

昭和五十年一月制定

富沢 孝吉／作詞

高梨 忠雄／作曲

大友 雅晴／編曲

一

貴高き蔵王仰ぎみて
心豊に水清く

いで湯に榮えるかみのやま
市民の平和願いつつ

鍛えて伝う消防の
輝く功うけ継がん

二

にわかにおそう魔の炎
今ぞ防がん楯われら

吼えるサイレン飛ぶくるま
ホースのさばき身も軽く

水火の中に敢然と
立つや守人意気高し

三

木枯しすさぶ軒近く
夢安かれと祈りつつ

巡りいましむ予防班
疲れしこの身何のその

尊き使命背に負いて
消防われらいざゆかん

かみのやま消防

令和7年8月発行

上山市消防本部

山形県上山市石崎一丁目7-46

TEL (023) 672-1190 (代)

FAX (023) 673-3250

E-mail : shobo@city.kaminoyama.yamagata.jp

URL : <http://www.city.kaminoyama.yamagata.jp>